

使用説明書

PC@LL ソフトレコーダ ver 14.0

ご使用になる前に、この『使用説明書』をよくお読み下さい。 また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切 に保管下さい。

株式 内田洋 汀

お買い上げいただき、ありがとうございます。 お使いの前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

[ご注意]

- 1) 本製品及び本書は株式会社内田洋行の著作物です (*)。 したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
 - (*) スピードコントロール機能は株式会社 SONY の著作物です。
- 2) 本製品及び本書の内容については、改良のため予告なく変更することがあります。
- 3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、内田洋行サポートセンターまでご連絡ください。

内田洋行

電話:

メールアドレス:

- 4) 本製品を運用した結果のほかへの影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
- 5) 本ソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、1部だけ複写できるものとします。
- 6) 本ソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
- 7) 本ソフトウェアのソースコードについてはいかなる場合もお客様に開示、使用許諾を いたしません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセ ンブル、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリング等行為を行うことを 禁止します。
- 8) お客様は本ソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
- 9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
- 10) 弊社は、お客様が[ご注意]の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができます。
 - Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびそのほかの国における登録商標です。
 - その他、本書に記載されている会社名、製品名は、一般にそれぞれ各社の商標また は登録商標です。なお、本文中は™、®マークは明記していません。

安全のために



ソフトウェア製品は、安全のための注意事項を守らないと 健康を害することがあります。

この取扱説明書には、健康を守るために重要な注意事項と 製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書を よくお読みのうえ、製品をお使いください。お読みになっ たあとは、いつでも見られるところに必ず保管してくださ い。

安全のための注意事項を守る

下記の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記されています。

警告表示の意味

使用説明書および製品では、次のような表示を しています。

表示内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を 守らないと、健康を害す るおそれがあります。



行為を禁止する記号です。



下記の注意事項を守らないと健康を害するおそれがあります。



ディスプレイ画面を長時間継続してみない

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下する恐れがあります。ディスプレイ画面を見続けて、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐにコンピュータの使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは、医師の診断を受けてください。



キーボードを使いすぎない

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が 痛くなったりすることがあります。キーボードやマウスなどを使用 中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐにコンピュータ の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛み がとれないときは、医師の診断を受けてください。



CD-ROM を一般のオーディオ CD プレーヤーで再生しない

大音量によって耳を痛めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

目次

[ご注意]	2
	- ために	
第1音	ソフトレコーダの起動	G
1. 1.	MENU の起動方法	
1. 2.	MENU の概要	
1. 2.	NILITO VIMA	
第2章.	Listening & Speaking (リスニング & スピーキング)	9
2. 1.	Listening & Speaking の起動と終了	9
2. 2.	Listening & Speaking 各部の名称	11
2. 3.	教材の読み出し	28
2.4.	基本練習	
2. 5.	録音モードにおける練習モード	30
2. 6.	書取モードにおける練習モード	31
2.7.	繰り返し再生	33
2.8.	PC@LL コンソールから配信された教材の再生	34
2. 9.	インデックスの編集	34
姓 0 辛	SCREEN LESSON(スクリーンレッスン)	0.0
第3章.		
3. 1.	SCREEN LESSON の起動と終了	
3. 2.	SCREEN LESSON 各部の名称	
3. 3.	教材の読み込み・再生	
3. 4.	自分の音声の録音・再生と書き取り	
3. 5.	自分の音声、書き取りの提出	
3. 6.	繰り返し再生	32
第4章.	DRILL STUDY (ドリルスタディ)	53
4. 1.	DRILL STUDY の起動と終了	53
4. 2.	DRILL STUDY 各部の名称	57
4. 3.	DRILL STUDY 基本操作編	65
4. 4.	DRILL STUDY 一斉理解度チェックについて	67
4. 5.	DRILL STUDY 一斉理解度チェックの問題作成と実施	67
4. 6.	DRILL STUDY 一斉理解度チェック実施後操作	
4. 7.	DRILL STUDY 一斉理解度チェックの既存問題による実施	75
第5章.	CHAT (チャット)	7.5
あり早. 5. 1.	CHAT () マッド)	
5. 1. 5. 2.		
5. 2. 5. 3.	CHAT 各部の名称	
	グループ選択	
5. 4. 5. 5.	発言音声ファイル添付	
ə. ə.	目 戸 ノ チ イ1 /V 修刊	86
第6章.	Dictionary (ディクショナリー)	88
6. 1.	Dictionary の起動と終了	

第7章.	Academic Writing(アカデミックライティング)	89
7. 1.	Academic Writing の起動と終了	89
7. 2.	Academic Writing 各部の名称	91
7. 3.	教材選択	
7. 4.	練習モードの実施	97
7. 5.	実践モードの実施	
7. 6.	提出物の印刷	
第8章.	SYNCHRO (シンクロ)	104
8. 1.	SYNCHRO について	104
	SYNCHRO の使用方法	
第9章.	Text To Speech	106
9. 1.	PC@LL Text To Speech オプションのインストール	106
9. 2.	Text To Speech の起動	106
9. 3.	Text To Speech の使用方法	107
9. 4.	Text To Speech 音声の切り替え方	

第1章. ソフトレコーダの起動

1.1. MENU の起動方法

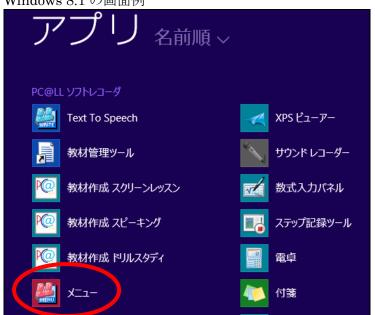
Windows 7/10 の場合

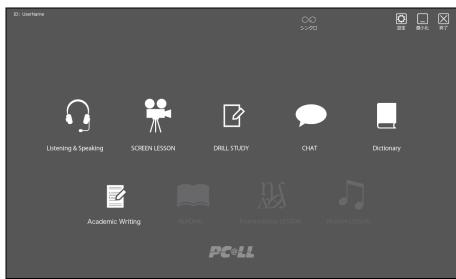
「スタートメニュー」 — 「PC@LL ソフトレコーダ」 — 「メニュー」を実行してください。

Windows8/8.1 の場合

メニュー画面の「メニュー」を実行してください。

Windows 8.1 の画面例





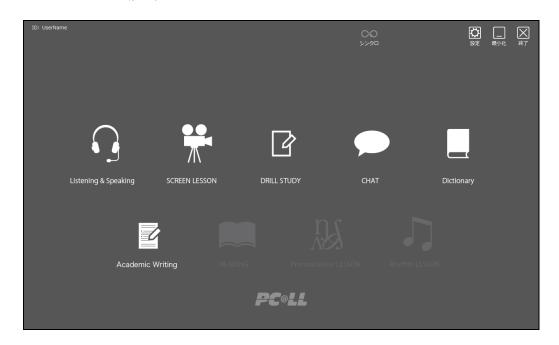
メニューが起動します。

※「教材作成 スピーキング」、「教材作成 ドリルスタディ」、「教材作成 スクリーンッスン」は教師用をインストールした場合のみ表示され、学習者用では表示されません。

「Text To Speach」は導入状況により表示されない場合があります。

UCHIDA

1.2. **MENU** の概要



$\lfloor ID \rfloor$

: PC@LL システムで認識している"表示名"が表示されます。

Listening & Spreaking

: Listening & Spreaking が起動します。

「SCREEN LESSON」

: SCREEN LESSON が起動します。

「DRILL STUDY」

: DRILL STUDY が起動します。

$\lceil \text{CHAT} \rfloor$

: CHAT が起動します。

[Dictionary]

: Dictional が起動します。

「Academic Writing」

: Academic Writing が起動します。

「READING |

: 英文速読が起動します。

※オプションである「英文速読」を導入した場合のみ有効。

「Pronunciation LESSON」

:発音レッスンが起動します。

※オプションである「発音レッスン」を導入した場合のみ有効。

「Rhythm LESSON」

:リズムレッスンが起動します。

※オプションである「リズムレッスン」を導入した場合のみ有効。

「シンクロ」

: 教師モードで起動したときのみに表示されます。 シンクロを押して各アプリケーションのボタンを押すと、シンクロ機能によって各学 習者 PC も連動して教師側で選択したアプリケーションが起動します。

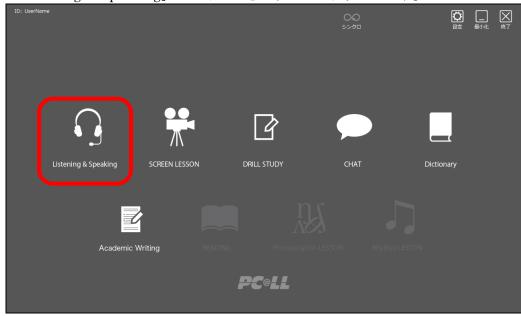


第2章. Listening & Speaking (リスニング & スピーキング)

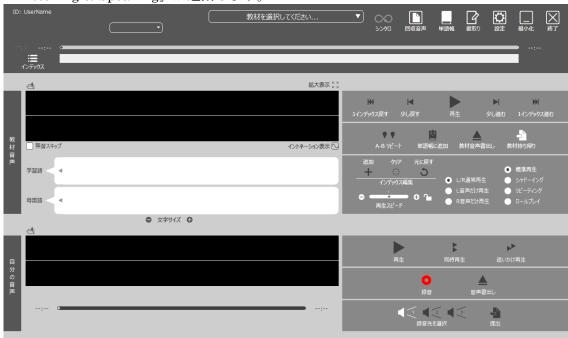
2.1. Listening & Speaking の起動と終了

起動方法

1. 「Listening & Speaking」のアイコンをマウスでクリックします。

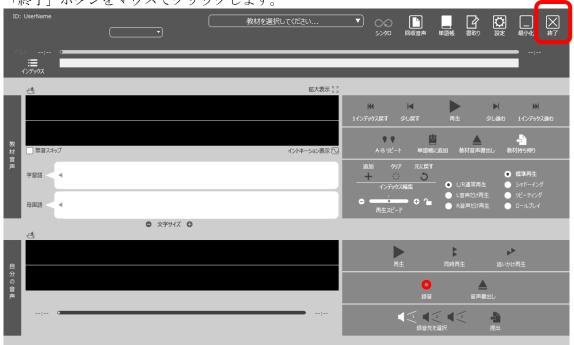


2. 「Listening & Speaking」が起動します。

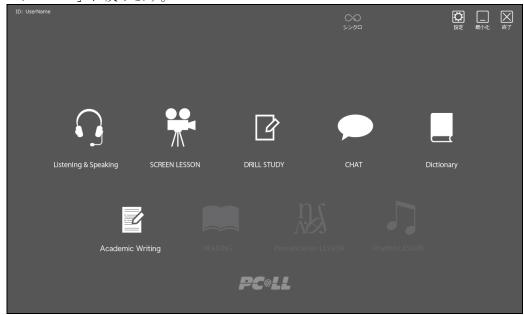


終了方法

1. 「終了」ボタンをマウスでクリックします。

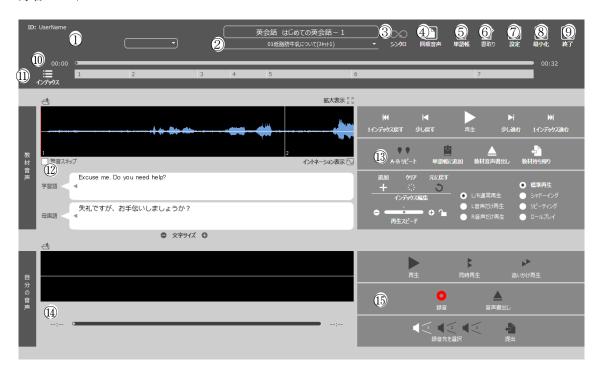


2. 「メニュー」に戻ります。

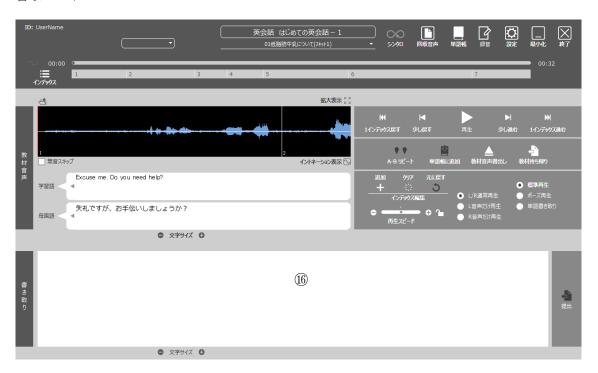


2.2. Listening & Speaking 各部の名称

録音モード



書取モード



- (1)ID
- ②教材選択 & 教材名表示
- ③シンクロボタン
- ④回収音声ボタン
- ⑤単語帳ボタン
- ⑥書取り / 録音 ボタン
- ⑦設定ボタン
- ⑧最小化ボタン
- ⑨終了ボタン
- ⑩再生位置、時間表示
- (1)インデックスボタン
- 迎教材の音声 & 教材テキスト表示部
- ③教材の音声操作部
- ⑯書取モード:書き取り部

(l) ID

PC@LLの表示名が表示されます。

一般的に、出席前は座席名(学習者1等)、出席操作後は出席名(名前)が表示されます。

② 教材選択 & 教材名表示

教材を選択します。

教材は、教材作成アプリで作成した専用教材以外に、音声ファイル(WAV、WMA、MP3形式)に対応しています。

教材選択後は、教材名を表示します。



③ シンクロボタン

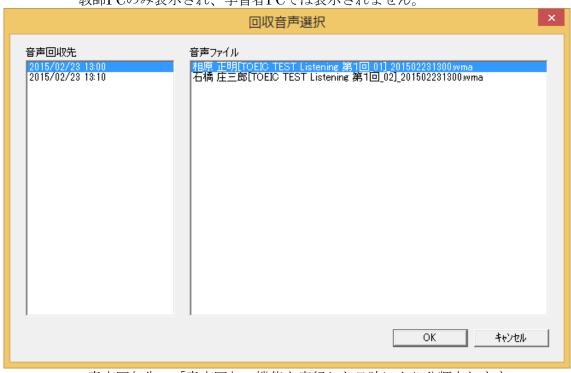
教師PC、学習者PCで動作が異なります。

教師PCの場合、「シンクロ」ボタンを押下後に操作を行うと、学習者PCで起動している「Listening & Speaking」が教師PC側と連動して動作します。 学習者PCの場合、「シンクロ」ボタンを押下する事で、その瞬間の教師PC側の「Listening & Speaking」の状態と同期します。

④ 回収音声ボタン

PC@LL コンソールの「音声回収」機能の実行により回収された音声ファイルにアクセスする為のダイアログを開きます。

教師PCのみ表示され、学習者PCでは表示されません。



音声回収先:「音声回収」機能を実行した日時により分類されます。

音声ファイル:音声ファイルが表示されます。

ファイル名は表示名[教材名_テキスト名]_回収日時.wmaです。

「OK」ボタンにより選択した音声を開きます。

「キャンセル」ボタンにより、このダイアログを閉じます。

⑤ 単語帳ボタン

「音の単語帳」機能として、音声の一部分を取り出して記録することが出来ます。

「単語帳」ボタンを押下する事で、音の単語帳に保存された音声を開く為のダイアログを表示します。



「削除」ボタン:選択した音声を削除します。

「選択」ボタン:選択した音声を「Listening & Speaking」の教材の音声とし

て開きます。

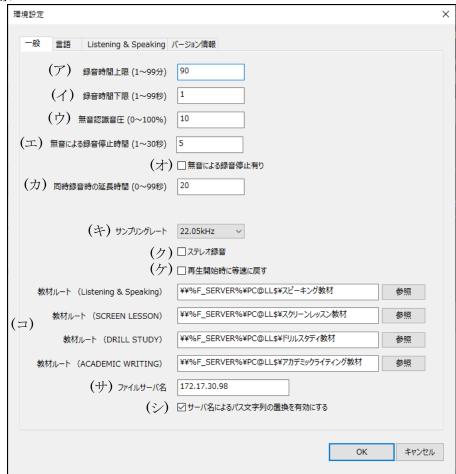
「閉じる」ボタン:このダイアログを閉じます。

⑥ 書取り / 録音ボタン

「Listening & Speaking」を録音モードから書取モードに切り替えます。 書取モードでは、「録音」ボタンに切り替わります。

⑦ 設定ボタン 設定ダイアログを表示します。

[一般]タブ



(ア) 録音時間上限

設定範囲は1~99分。初期設定は15分です。

(イ) 録音時間下限

録音されたとみなす最短の時間です。初期設定は1秒です。

(ウ) 無音認識音圧

自動インデックス作成で使用するパラメーター。この音圧以下は 無音とみなします。

(エ) 無音による録音停止時間

指定秒数無音が続くと録音が停止する際の時間指定。

(オ) 無音による録音停止有り

無音が続いた際、録音を停止します。

(エ) の指定時間無音だった場合録音を停止します。

(カ) 同時録音時の延長時間

同時録音を行った際、学習語(手本)の再生が終了した後、指定 時間自分の声の録音を継続します。

(キ) サンプリングレート

録音時の音声ファイルのサンプリングレートを指定します。

8 KHz

16KHZ

 $22.05~\mathrm{KHz}$

 $44.10~\mathrm{KHz}$

の4種類から選択できます。

(ク) ステレオ録音

音声ファイル形式をステレオ形式で録音します。 入力デバイスがステレオに対応していない場合は、ステレオの左 右チャンネルは同じ音声が録音されます。

(ケ) 再生開始時に等速に戻す

スピードコントロールについて再生ボタンを押すごとに等速に 戻します。

(コ) 教材ルートフォルダ

ソフトレコーダの教材ルートフォルダを指定します。 教材ルートフォルダはスピーキング用、ドリルスタディ用、スクリーンレッスン用、アカデミックライティング用の 4 カ所を登録します。

(サ) ファイルサーバ名

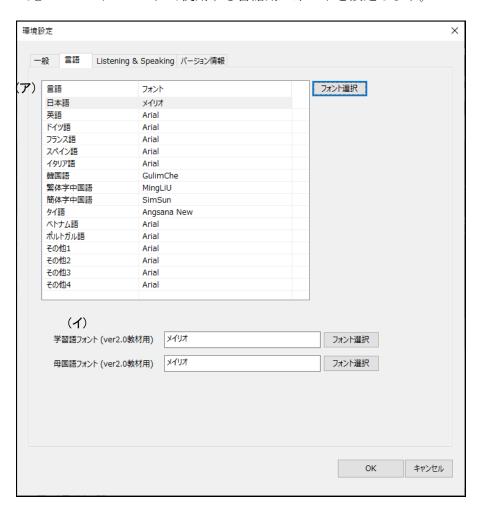
サーバー名の置き換えを使用する(シ)を行う場合に、サーバー名を指定します。

(シ) サーバー名によるパス文字列の置換を有効にする。

教材パス指定時にサーバー名の置き換えを使用する場合に チェックを入れます。

[言語]タブ

PC@LL ソフトレコーダで使用する言語用フォントを設定します。



(ア) フォント設定

ソフトレコーダでは使用する言語を16種類設定することができます。

プリセット 12種類

日本語 英語

ドイツ語

フランス語

スペイン語

イタリア語

韓国語

繁体字中国語

簡体字中国語

タイ語

ベトナム語

ポルトガル語

自由設定 4種

自由設定は言語の名称、フォントの種類の両方を変更することができます。 上記固定の言語以外を使用する場合はこちらに設定してください。

設定されているフォントはあらかじめインストールされているフォントを選択してあります。専用のフォントを導入されている場合はそのフォントを選択してください。

(イ) ver 2.0用教材データ読み込み時フォント設定

ver 2.0用教材データを読み込む際に使用するデータを設定します。Ver 2.0用データはデータ内に使用している言語のデータが無いためソフトで指定する必要があります。

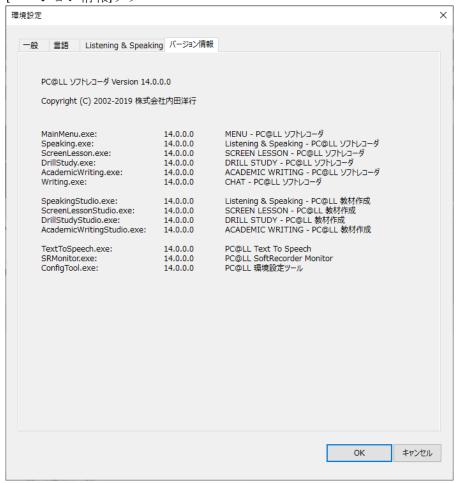
[Listening & Speaking]タブ



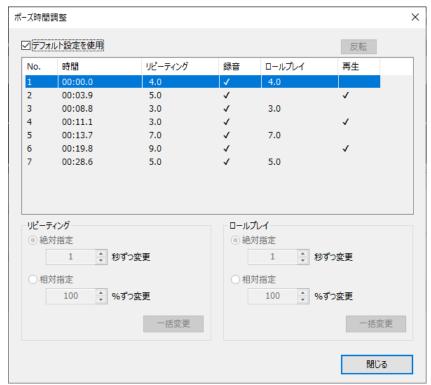
一部の操作について、キーボードから操作を行う事ができます。

ショートカットキーを有効にする:ショートカットキーを使えるようになります。 初期設定:ショートカットキーのキー割り当てを初期値に戻します。

[バージョン情報]タブ



- ⑧ 最小化ボタン ソフトを最小化します。
- ⑨ 終了ボタン「Listening & Speaking」を終了し、「メニュー」に戻ります。
- 再生位置、時間表示 音声の再生位置と時間を表示します。 左端の時間は現在の再生時間を表示します。 右端の時間は音声の残り時間を表示します。アイコンにより繰り返し再生が可能です。
- ① インデックスボタン 教材のインデックスのポーズ時間や練習モードでの動作設定を変更出来ます。



デフォルト設定を使用: 教材の設定を利用します。

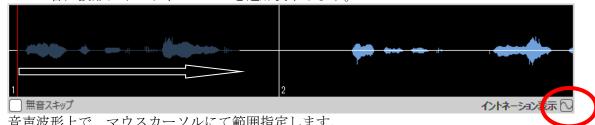
閉じる:本ダイアログを閉じます。

② 教材の音声 & 教材テキスト表示部



- (ア) 音声波形表示
 - 学習語の音声を表示します。表示幅は5秒です(固定)
- (イ) 学習語文章表示インデックス毎に対応した学習語の文章を表示します。◆をクリックすることで、文章を隠すことが出来ます。
- (ウ) 母国語文章表示 インデックス毎に対応した母国語の文章を表示します。◆をクリックすることで、文章を隠すことが出来ます。
- (エ) 拡大表示波形を拡大表示します。

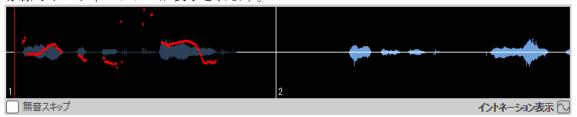
(オ) イントネーション表示 音声波形にイントネーションを追加表示します。



音声波形上で、マウスカーソルにて範囲指定します。

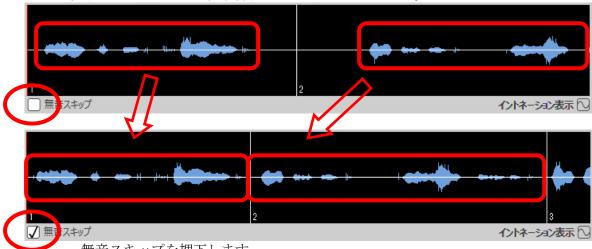
イントネーション表示を押下します。

赤線でイントネーションが表示されます。



※ノイズなどにより、ただくし表示出来ない場合があります。

- 文字サイズ調整 (カ) 学習語文章、母国語文章の文字サイズを調整します。
- (キ) ファイルを開く ファイルを開くダイアログにより、音声ファイルを開くことが出来ます。
- (ク) 無音スキップ 音声中の無音部分をスキップして再生する事が出来ます。 教師 PC のみ表示され、学習者 PC では表示されません。



無音スキップを押下します。

無音部分がスキップされ、スキップされた部分にインデックスが示さ れます。

③ 教材の音声操作部

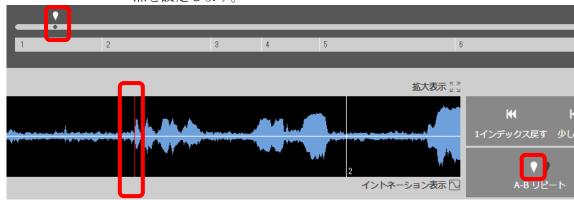


- (ア) 1インデックス戻す 再生位置を前のインデックスの先頭に戻します。
- (イ) 少し戻す 再生位置を1秒(初期値)戻します。 戻す時間は設定ファイルで変更が可能です。
- (ウ) 再生 教材の再生を行います。
- (エ) 少し進む 再生位置を1秒進めます。 進める時間は設定ファイルで変更が可能です。
- (オ) 1インデックス進む 再生位置を次のインデックスの先頭に進めます。

(カ) A-B リピート

A、B2点を設定した繰り返し再生に対応します。

A 点の設定: 左側のポイントをクリックすることで、カーソル位置に A 点を設定します。



B 点の設定:右側のポイントをクリックすることで、カーソル位置に **A** 点を設定します。



再度、ポイントをクリックすることで、A、B点を削除出来ます。

(キ) 単語帳に追加

波形表示にて範囲選択した部分を単語帳に追加します。

154715	200	· +0 = /	<u> </u>	2 1 C FIF 25	_ I FI	12C C = 74E	0 01
単語帳に追加							×
音声の名前							
				道	きかロ こうしゅう	閉じる	

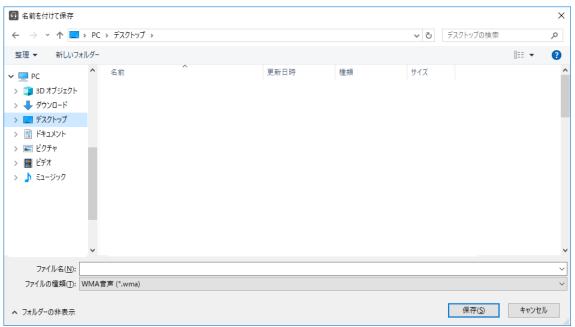
単語帳登録時は、音声の名前を登録します。

音声の名前では以下の文字は使用できません。

¥/:,;*?"<>|

(ク) 教材の音声書出し

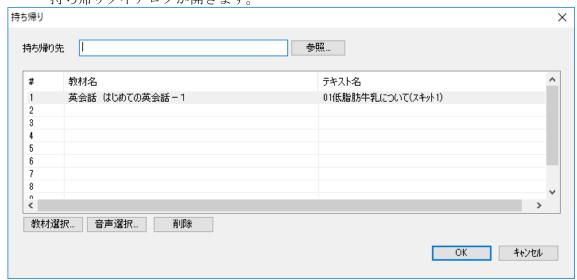
開いている教材の音声をファイルに書き出すことか出来ます。 書き出しは「名前を付けて保存」ダイアログにて行います。



(ケ) 教材持ち帰り

教材の持ち帰りを行います。

持ち帰りダイアログが開きます。



(コ) インデックス編集

インデックスを編集出来ます。

追加:指定した位置(波形表示上の赤い縦線)にインデックスを追加します。 クリア:インデックスを全て削除します。

元に戻す:直前に行ったインデックス操作をキャンセルします。

- (サ) 再生スピード
 - 再生スピードを調整出来ます。
- (シ) 再生音声選択

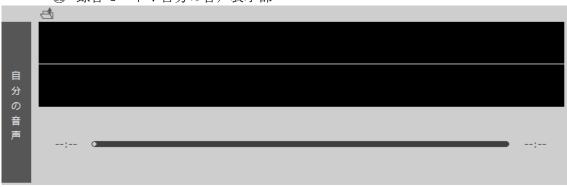
再生する音声を変更出来ます。

教師 PC のみ表示され、学習者 PC では表示されません。

(ス) 練習モード設定

練習モードを変更出来ます。

⑭ 録音モード:自分の音声表示部



録音した音声の波形を表示します。

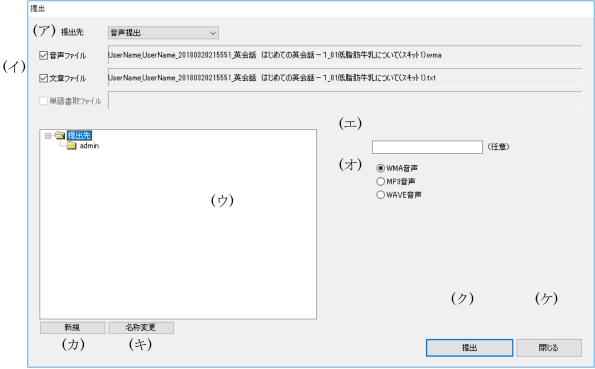
下のスライダーで再生位置と時間を変更出来ます。

また、波形エリア左上のボタンでファイルを開くダイアログにより、音声ファイルを開くことが出来ます。

⑤ 録音モード:自分の音声操作部



- (ア) 再生
 - 自分の音声を再生します。
- (イ) 同時再生
 - 教材の音声と自分の音声を同時に再生します。
- (ウ) 追いかけ再生
 - 教材の音声と自分の音声を1インデックスずつ再生します。
- (エ) 録音
 - 録音を行います。
- (オ) 音声書出し
 - 録音した音声をファイルに書き出すことか出来ます。 書き出しは「教材の音声書き出し」と同様に「名前を付けて保存」ダイ
 - アログにて行います。
- (カ) 録音先を選択
 - 録音場所を3カ所から選択出来ます。
- (キ) 提出
 - 録音音声を教師に提出します。
 - 録音音声は WAV、WMA、MP3 のいずれかを選択出来ます。



(ア) 提出先

提出先を選択します。

提出先は設定により4箇所まで登録可能です。

(イ) 提出ファイル

提出ファイルを選択します。

録音を行っていない場合、音声ファイルは選択出来ません。 書取を行っていない場合、文章ファイルは選択出来ません。

- (ウ) 提出先のサブフォルダー選択提出先のサブフォルダーを選択します。
- (エ) 提出名

提出時に任意の名前を追加出来ます。

提出ファイル名は以下の通りです。

ログイン ID_名前_日付時間_教材名_テキスト名_提出名.拡張子

(才) 音声形式

録音音声を提出する場合の音声形式を選択します。

録音音声は WAV、WMA、MP3 のいずれかを選択出来ます。

- (カ) サブフォルダー新規作成ボタン 提出先のサブフォルダーを作成します。このボタンは教師 PC で動作した場合のみ表示されます。
- (キ) サブフォルダー名前変更ボタン 選択したサブフォルダーの名前を変更します。 このボタンは教師 PC で動作した場合のみ表示されます。
- (ク) 提出ボタン選択した提出先、サブフォルダーに提出を行います。提出後、確認ダイアログが表示されます。
- (ケ) 閉じるボタン提出を行わず、ダイアログを閉じます。

16 書取モード:書き取り部



- (ア) 書き取り
 - 文章の書き取りを行うテキスト入力エリアです。
- (イ) 提出 録音音声、書き取り文章の提出を行います。
- (ウ) 文字サイズ書き取り文章の文字サイズを調整します。
- ⑰ 書取モード(単語書き取り):書き取り部



- (ア) 書き取り 文章の書き取りを行うテキスト入力エリアです。
- (イ) 提出 録音音声、書き取り文章の提出を行います。

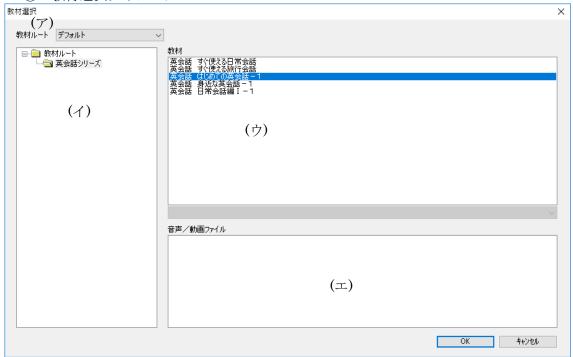
2.3. 教材の読み出し

教材選択

教材選択 & 教材名表示の<教材を選択してください...>を押下し、教材選択ダイアログを表示します。



② 教材選択ダイアログ



教材選択ダイアログが表示されます。

(ア) 教材ルート

教材ルートフォルダが表示されます。

一般的に、教師 PC では「デフォルト」と「音声提出」が表示されます。 学習者 PC では、「デフォルト」のみが表示されます。

(イ) サブフォルダー表示

選択した教材ルートのサブフォルダーが表示されます。

(ウ) 教材表示

選択したサブフォルダー内の教材が表示されます。 ここではソフトレコーダ用に作成された教材が表示されます。

(エ)音声/動画ファイル

選択したサブフォルダー内の音声/動画ファイルが表示されます。 音声ファイルは、WAV、WMA、MP3形式に対応しています。 動画ファイルは、WMV、AVI形式に対応しています。

- ③ 教材ないしは音声/動画ファイルを選択します。
- ④ 選択した教材が読み込まれます。

2.4. 基本練習



教材音声・再生ボタン

教材音声が存在する時、教材の音声操作部が有効になります。

標準モード時にこのボタンをクリックすると、テキスト音声の再生を開始します。

再生開始位置より再生し、再生範囲指定、あるいは音声ファイルの終端に達すると再生を終了します。

再生が進むにつれて音声波形表示や再生位置表示バー、時間表示、インデックス表示の表示内容も更新されます。



自分の音声・再生ボタン

自分の音声が存在する時、このボタンをクリックすると、録音した音声の再生を開始します。

再生開始位置より再生し、再生範囲指定、あるいは音声ファイルの終端に達すると再生を 終了します。

再生が進むにつれて音声波形表示や再生位置表示バー、時間表示の表示内容も更新されます。



自分の音声・録音ボタン

標準モード時、このボタンをクリックすると、既存の録音音声を破棄して録音を開始します。

録音が進むにつれて時間表示の表示内容も更新されます。録音時間が録音時間上限に達すると、録音を停止します。

無音による録音停止有無が有効になっている時は、無音を検出した時点で録音を停止します。

録音時間が録音時間下限に満たない時は、録音した音声ファイルを破棄します。

2.5. 録音モードにおける練習モード

練習モードの切り替えにより語学学習に適した自動的な再生、録音の制御を行います。

標準再生シャドーイングリピーティングロールプレイ

シャドーイング

教材音声を聞き取りながら、同時に録音(発音)を行う練習モードです。聞き取りと録音は同時に行われます。

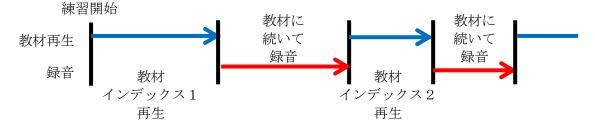
練習開始



リピーティング

教材音声を聞いた後に録音を行う練習モードです。

シャドーイングと異なり、聞き取りと録音はインデックス毎に相互に行われます。 一般的な教材においては、録音時間は直前の教材の再生時間と等しい為、練習には 教材の長さの2倍の時間がかかります。



ロールプレイ

教材音声を聞いた後に録音を行う練習モードです。

会話について、1名分発言を学習者の録音(発音)によって構成します。

このため、リピーティングと異なり、録音は直前の教材の繰り返しではありません。

一般的な教材においては、録音時間は本来の教材の再生時間と等しい為、練習には教材の長さと同じ時間がかかります。

練習開始



2.6. 書取モードにおける練習モード

練習モードの切り替えにより語学学習に適した自動的な再生の制御を行います。

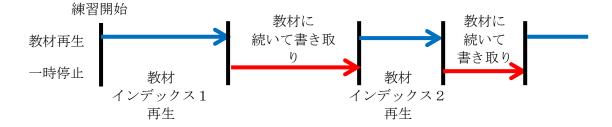
標準再生ポーズ再生単語書き取り

ポーズ再生

教材音声を聞いた後に書き取りを行う練習モードです。

聞き取りと書き取りはインデックス毎に相互に行われます。

一般的な教材においては、書き取り時間は直前の教材の再生時間と等しい為、練習には教材の長さの2倍の時間がかかります。



単語書き取り

リスニングで単語毎の書き取りを行う練習モードです。

教材の再生はインデックス単位で行われ、手動で次のインデッスクに進まない限り、 現在のインデッスクのみを再生します。

書き取りエリアに単語を入力し、Enter ないしは Space キーを押下することで、 教材の英文と比較し、正しければ該当の単語が表示されます。

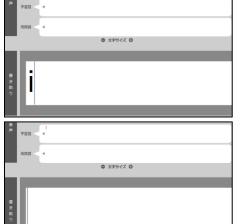
教材を選択し、単語書き取りモードにした後は以下の様になります。

開始直後の画面

教材の学習語は何も表示されず、書き 取りエリアも入力前です。



「i」を入力した画面 入力直後で確定前です。



「i」を確定した画面

「i」の聞き取りが正しい為、学習語枠 の正解文章の「I」が赤文字で表示され ます。

「enjoy」を入力し確定した画面 「enjoy」の聞き取りが誤り為、学習語 枠の正解文章には表示されていません。



「enjoyed」を入力し確定した画面「enjoyed」の聞き取りが正しい為、学習語枠の正解文章の「enjoyed」が赤文字で表示されます。

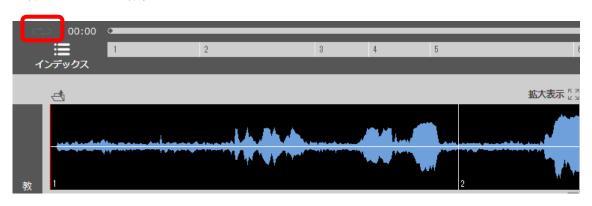


単語書き取りモードの判定動作ついて 単語書き取りモードは単語単位の完全一致で判断しています。 このため、過去形等、単語のスペルが異なる場合も正しく入力する必要があります。 また、短縮形 (I am $\rightarrow I$ 'm)も同様に正しく入力する必要があります。 大文字、小文字は判断していません。 区切りの「,」や「.」は自動的に補完されます。

2.7. 繰り返し再生

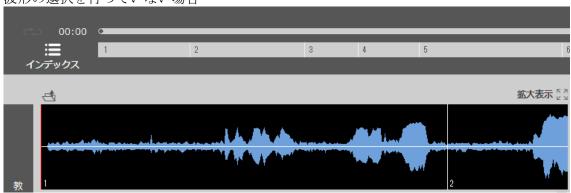
繰り返し再生は、教材の選択状態により動作が異なります。

繰り返し再生の有効



ボタンを押すことで、繰り返しが有効になります。 繰り返し再生が有効な状態では、ここに表示が切り替わります。

波形の選択を行っていない場合



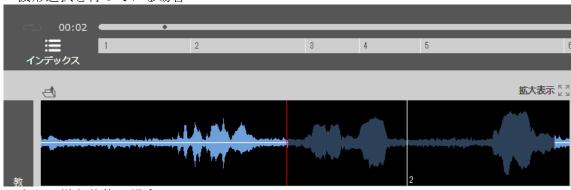
上記の様な状態の場合、

波形選択:行っていない

再生位置: 先頭(インデックス 1)

となっていますので、インデックス1を繰り返し再生します。

波形選択を行っている場合



上記の様な状態の場合、

波形選択:行っている(インデックス1から2にかけて)

UCHIDA

再生位置:インデックス1の途中

となっていますので、インデックスの区切りを超え、選択した範囲で繰り返し再生されます。

2.8. PC@LL コンソールから配信された教材の再生

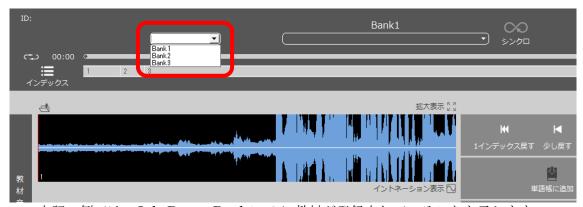
PC@LL コンソールから教材配信を行うことが出来ます。 配信された教材は、以下の手順で再生出来ます。

配信された教材の選択

配信された教材は JukeBox に登録されます。

JukeBox は Bank として管理され、Bank1~Bank10 の 10 個まで登録することが出来ます。

JukeBox を押下することで、配信された教材を選択出来ます。



上記の例では、JukeBoxのBank1~3に教材が登録されていることを示します。

2.9. インデックスの編集

教材のインデックスは、学習者側で編集が可能です。



UCHIDA

インデックスを追加する

インデッスクを追加したい場所に再生位置(波形表示の赤線)を移動します。 「インデッスク編集-追加」ボタンを押すことで、インデックスが追加されます。



以下の様にカーソルの位置にインデッスクが追加されます。



インデックスクリアについて

「インデックスークリア」ボタンを押すと全てのインデックスが削除されます。 インデックスを作り直したい時に利用します。

インデックス元に戻すについて

「インデックスー元に戻す」ボタンを押すとインデックス情報が教材読み込み直後に戻ります。

第3章. SCREEN LESSON(スクリーンレッスン)

3.1. SCREEN LESSON の起動と終了

起動方法

1. 「SCREEN LESSON」のアイコンをマウスでクリックします。



2. 「SCREEN LESSON」が起動します。

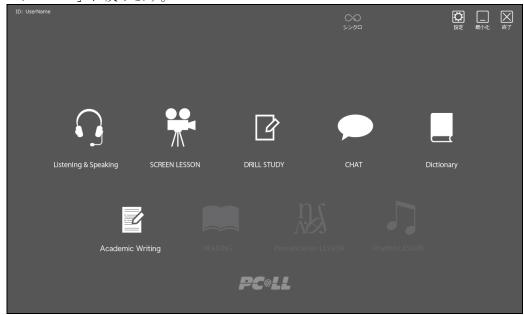


終了方法

1. 「終了」ボタンをマウスでクリックします。

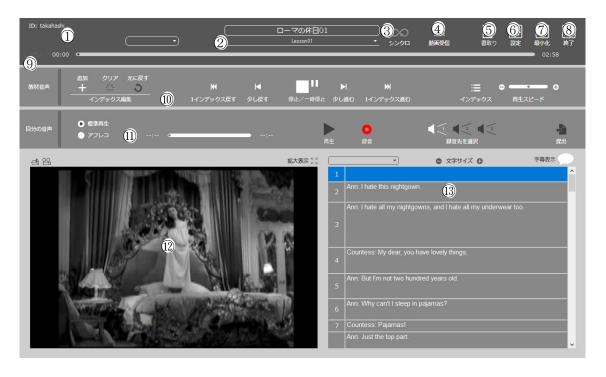


2. 「メニュー」に戻ります。



3.2. SCREEN LESSON各部の名称

字幕モード



書取モード



- \bigcirc
- ②教材選択 & 教材名表示
- ③シンクロボタン
- ④動画受信ボタン
- ⑤書取り / 字幕 ボタン
- ⑥設定ボタン
- ⑦最小化ボタン
- ⑧終了ボタン
- ⑨再生位置、時間表示
- ⑩教材操作部
- ⑪自分の音声操作部
- 迎動画表示部
- 13指示、字幕表示部
- ⑭書き取り部

① ID

PC@LLの表示名が表示されます。

一般的に、出席前は座席名(学習者1等)、出席操作後は出席名(名前)が表示されます。

② 教材選択 & 教材名表示 教材を選択します。 教材選択後は、教材名を表示します。



教材選択前

教材選択後

③ シンクロボタン

教師PC、学習者PCで動作が異なります。

教師PCの場合、「シンクロ」ボタンを押下後に操作を行うと、学習者PCで起動している「SCREEN LESSON」が教師PC側と連動して動作します。 学習者PCの場合、「シンクロ」ボタンを押下する事で、その瞬間の教師PC側の「SCREEN LESSON」の状態と同期します。

④ 動画受信ボタン

映像配信オプションを導入されている場合において、映像配信中に「動画受信」 ボタンを押下すると、動画受信を行います。 します。

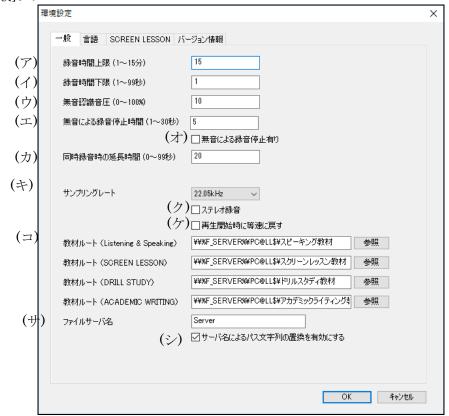
⑤ 書取り / 字幕ボタン

「SCREEN LESSON」を字幕モードから書取モードに切り替えます。 書取モードでは、「字幕」ボタンに切り替わります。

⑥ 設定ボタン

設定ダイアログを表示します。

[一般]タブ



(ア) 録音時間上限

設定範囲は1~15分。初期設定は15分です。

(イ) 録音時間下限

録音されたとみなす最短の時間です。初期設定は1秒です。

(ウ) 無音認識音圧

自動インデックス作成で使用するパラメーター。この音圧以下は 無音とみなします。

(エ) 無音による録音停止時間

指定秒数無音が続くと録音が停止する際の時間指定。

(オ) 無音による録音停止有り

無音が続いた際、録音を停止します。

(エ) の指定時間無音だった場合録音を停止します。

(カ) 同時録音時の延長時間

同時録音を行った際、学習語(手本)の再生が終了した後、指定 時間自分の声の録音を継続する。

(キ) サンプリングレート

録音時の音声ファイルのサンプリングレートを指定します。

8 KHz

16KHZ

 $22.05~\mathrm{KHz}$

44.10 KHz

の4種類から選択できます。

(ク) ステレオ録音

音声ファイル形式をステレオ形式で録音します。 入力デバイスがステレオに対応していない場合は、ステレオの左右チャンネルは同じ音声が録音されます。

(ケ) 再生開始時に等速に戻す

スピードコントロールについて再生ボタンを押すごとに等速に 戻します。

(コ) 教材ルートフォルダ

ソフトレコーダの教材ルートフォルダを指定します。 教材ルートフォルダはスピーキング用、ドリルスタディ用、スク リーンレッスン用、アカデミックライティング用の 4 カ所を登 録します。

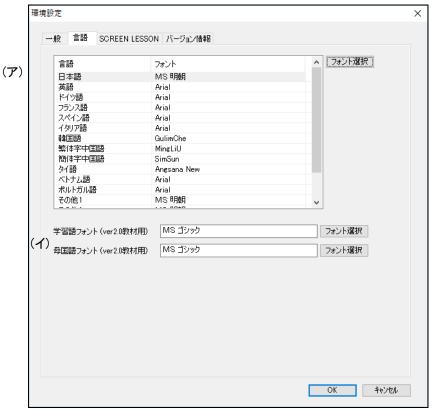
(サ) ファイルサーバ名

サーバー名の置き換えを使用する(シ)を行う場合に、サーバー名を指定します。

(シ) サーバー名によるパス文字列の置換を有効にする。 教材パス指定時にサーバー名の置き換えを使用する場合に チェックを入れます。

[言語]タブ

PC@LLソフトレコーダで使用する言語用フォントを設定します。



(ア) フォント設定

ソフトレコーダでは使用する言語を16種類設定することができます。

プリセット 12種類 日本語

英語

ドイツ語

フランス語

スペイン語

イタリア語

韓国語

繁体字中国語

簡体字中国語

タイ語

ベトナム語 ポルトガル語

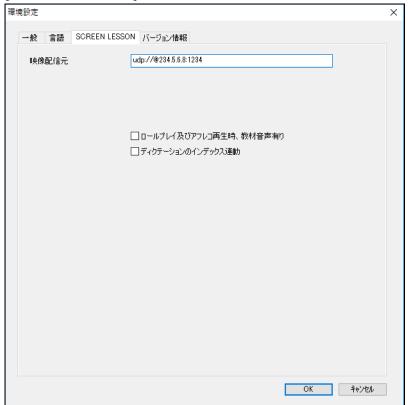
自由設定 4種

自由設定は言語の名称、フォントの種類の両方を変更することができます。 上記固定の言語以外を使用する場合はこちらに設定してください。

設定されているフォントはあらかじめインストールされているフォントを選択してあります。専用のフォントを導入されている場合はそのフォントを選択してください。

(イ) ver 2.0用教材データ読み込み時フォント設定 ver 2.0用教材データを読み込む際に使用するデータを設定します。Ver 2.0用データはデータ内に使用している言語のデータが無いためソフトで指定する必要があります。

[SCREEN LESSON]タブ



「SCREEN LESSON」の設定を行います。

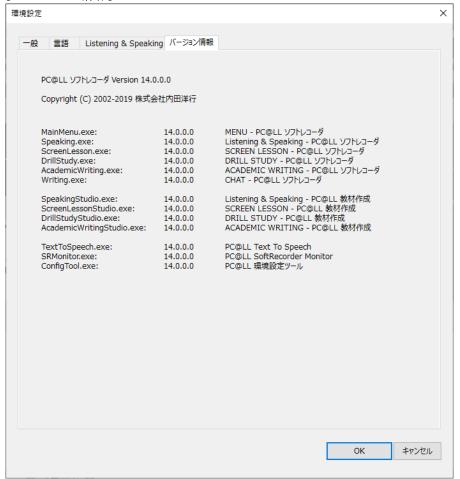
映像配信元

:映像配信オプション導入時の配信URLを設定します。

ロールプレイ及びアフレコ再生時、教材音声有り

:練習モードの「アフレコ」において、録音パートで教材音声を再生するか選択します。

[バージョン情報]タブ



ソフトレコーダの各実行ファイルの詳細なバージョン情報を確認出来ます。

- ⑦ 最小化ボタンソフトを最小化します。
- ⑧ 終了ボタン 「Listening & Speaking」を終了し、「メニュー」に戻ります。
- ⑨ 再生位置、時間表示 音声の再生位置と時間を表示します。 左端の時間は現在の再生時間を表示します。 右端の時間は音声の残り時間を表示します。
- ⑩ 教材操作部



インデックス編集

:インデックスを編集出来ます。

追加:指定した位置にインデックスを追加します。

クリア:インデックスを全て削除します。

元に戻す:直前に行ったインデックス操作をキャンセルします。

教材の操作を行います。

1インデックス戻す

: 再生位置を前のインデックスの先頭に戻します。

少し戻す

: 再生位置を1秒戻します。

再生

: 教材の再生を行います。

少し進む

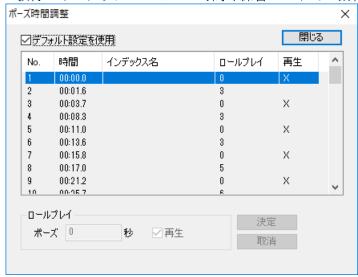
: 再生位置を1秒進めます。

1インデックス進む

: 再生位置を次のインデックスの先頭に進めます。

インデックス

: 教材のインデックスのポーズ時間や練習モードでの動作設定を変更出来ます。



デフォルト設定を使用: 教材の設定を利用します。

閉じる:本ダイアログを閉じます。

再生スピード

: 再生スピードを調整出来ます。

① 自分の音声操作部



標準再生

:練習モードを標準します。

アフレコ

:練習モードをアフレコにします。

再生

:録音した音声を再生します。

録音

:録音を行います。

録音先を選択

:録音場所を3カ所から選択出来ます。

提出

:録音音声や書き取り文を提出します。

ア・金田 イ

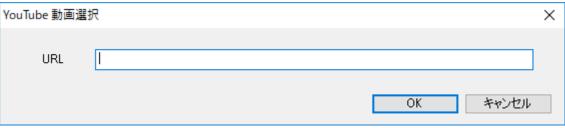
動画を表示します。

ア:ファイルを開く

ファイルを開くダイアログにより、動画ファイルを開くことが出来ます。

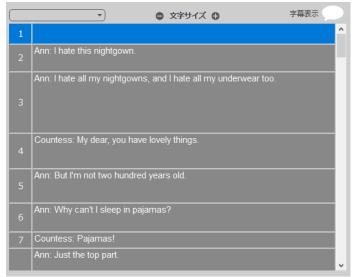
イ:youtubeを開く

YoutubeのURLを入力する事により、youtube動画を開く事が出来ます。 このとき、コンテンツに字幕が設定されている場合は、字幕の言語を選択 する事が出来ます。



ウ:拡大表示:動画を拡大表示します。

⑬ 指示、字幕表示部



字幕モードにおいて指示内容ないしは字幕を表示します。

youtubeコンテンツ利用時は字幕の切り替えが可能です。 ファイル教材、youtube教材共通で、文字サイズの変更や、字幕の表示ON/OFF を切替出来ます。

④ 書き取り部 文章の書き取りを行うテキスト入力エリアです。

3.3. 教材の読み込み・再生

「スクリーンレッスン」では基本的にスクリーンレッスンがインストールされた Windows Media Playerで再生できるほとんどの形式の動画を再生可能です。 ただし、一部の形式については、Windows Media Playerで問題なく再生できても、スクリーンレッスン上では正しく再生できないことがあります。

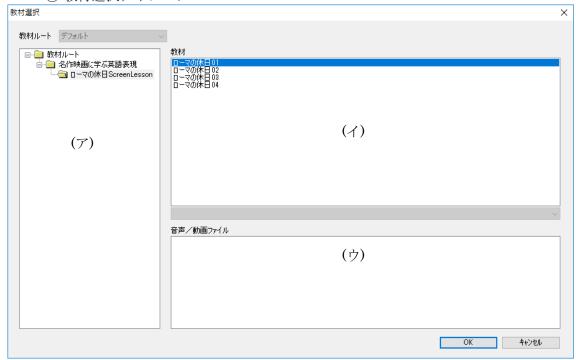
教材の読み込み

① 教材選択

教材選択 & 教材名表示の<教材を選択してください...>を押下し、教材選択ダイアログを表示します。

教材を選択してください... ▼

② 教材選択ダイアログ



教材選択ダイアログが表示されます。

(ア) サブフォルダー表示

教材ルートのサブフォルダーが表示されます。

(イ) 教材表示

選択したサブフォルダー内の教材が表示されます。 ここではスクリーンレッスン用に作成された教材が表示されます。

(ウ) 音声/動画ファイル

選択したサブフォルダー内の音声/動画ファイルが表示されます。

- ③ 教材ないしは音声/動画ファイルを選択します。
- ④ 選択した教材が読み込まれます。

UCHIDA

⑤ 再生ボタンを押下することで、教材の再生が開始されます。



3.4. 自分の音声の録音・再生と書き取り

スクリーンレッスンでは再生する動画にあわせて、自己の音声を録音することができます。

事前に教材作成で録音パートの設定をしておくことが可能です。

録音パートについては、「PAUSE SETTING」で一時的に設定を変更することができます。

録音



※事前に教材読み込みをしておく必要があります。



録音ボタン

録音ボタンにより、録音を行う事が出来ます。

録音は、録音先を切り替えることで、3つまで保持することが可能です。



再生

1. 自分の音声の再生ボタンで録音音声を再生できます。

アフレコ

1. 再生モードを「アフレコ」にします。



2. 動画の再生を開始します。 動画操作部の再生ボタンを押します。



3. 録音すべきインデックスになると自動的に録音が始まります。

アフレコ再生

1. 自分の音声の再生ボタンを押します。



2. 録画したタイミングに合わせて、録音した自己音声が再生されます。

書き取り

1. 書取モードに切り替えます。



2. 画面が書取モードに変わります。



3. 書き取りエリアで書き取りを行います。

書き取りは教材のインデックス毎に行います。

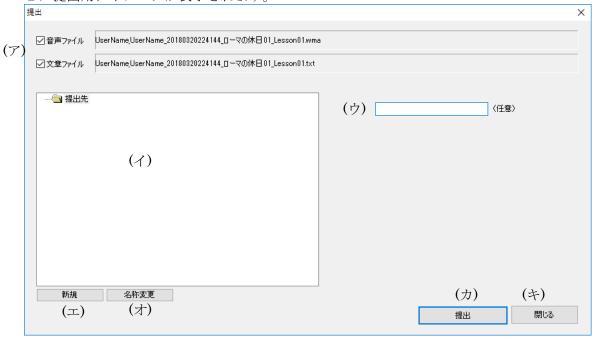
3.5. 自分の音声、書き取りの提出

スクリーンレッスンは録音した音声や書き取りした文章を提出することができます。

1. 提出ボタンを押します。



2. 提出用ダイアログが表示されます。



文章・音声提出ダイアログ

(ア) 提出ファイル

提出ファイルを選択します。

録音を行っていない場合、音声ファイルは選択出来ません。 書取を行っていない場合、文章ファイルは選択出来ません。

- (イ) 提出先のサブフォルダ選択提出先のサブフォルダーを選択します。
- (ウ) 提出名

提出時に任意の名前を追加出来ます。

提出ファイル名は以下の通りです。

ログイン ID_名前_日付時間_教材名_テキスト名_提出名.拡張子

- (エ) サブフォルダー新規作成ボタン 提出先のサブフォルダーを作成します。 このボタンは教師 PC で動作した場合のみ表示されます。
- (オ) サブフォルダー名前変更ボタン 選択したサブフォルダーの名前を変更します。 このボタンは教師 PC で動作した場合のみ表示されます。
- (カ) 提出ボタン 選択した提出先、サブフォルダーに提出を行います。 提出後、確認ダイアログが表示されます。

UCHIDA

- (キ) 閉じるボタン 提出を行わず、ダイアログを閉じます。
- 3.6. 繰り返し再生

繰り返し再生は、教材の選択状態により動作が異なります。

繰り返し再生の有効



ボタンを押すことで、繰り返しが有効になります。 繰り返し再生が有効な状態では、 ここに表示が切り替わります。

第4章. DRILL STUDY (ドリルスタディ)

4.1. DRILL STUDY の起動と終了

起動方法

教師、学習者により動作が異なります。

教師の場合

1. 「DRILL STUDY」のアイコンをマウスでクリックします。



2. モード選択画面が表示されます。 教師PCのみ表示され、学習者PCでは表示されません。



3. 「DRILL STUDY」が起動します。



学習者の場合

1. 「DRILL STUDY」のアイコンをマウスでクリックします。

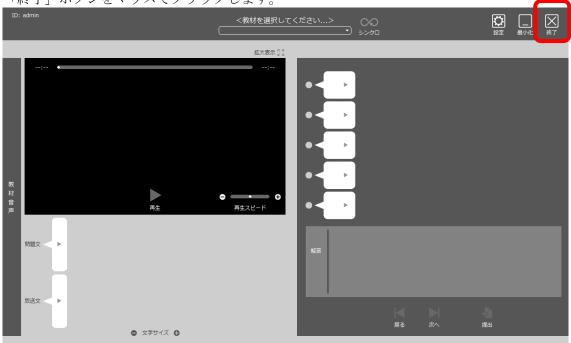


2. 「DRILL STUDY」が起動します。

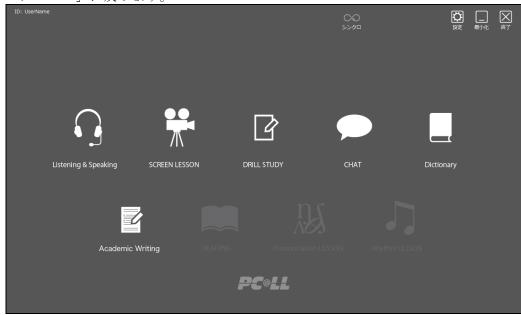


終了方法

1. 「終了」ボタンをマウスでクリックします。



2. 「メニュー」に戻ります。



4.2. DRILL STUDY各部の名称



ドリルスタディ画面

- \bigcirc
- ②教材選択 & 教材名表示
- ③シンクロボタン
- ④設定ボタン
- ⑤最小化ボタン
- ⑥終了ボタン
- ⑦音声操作、画像表示部
- ⑧問題文、放送文表示部
- ⑨選択肢文章表示部
- ⑩解答表示部
- ⑪戻るボタン
- 12)進むボタン
- (3)提出ボタン

- (1) ID
 - PC@LLの表示名が表示されます。
 - 一般的に、出席前は座席名(学習者1等)、出席操作後は出席名(名前)が表示され ます。
- ② 教材選択 & 教材名表示 教材を選択します。 教材選択後は、教材名を表示します。



③ シンクロボタン

教材選択後

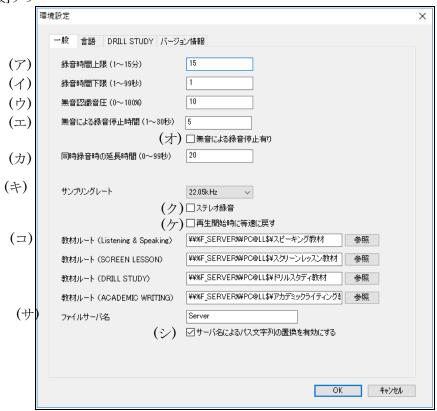
教師PC、学習者PCで動作が異なります。

教師PCの場合、「シンクロ」ボタンを押下後に操作を行うと、学習者PCで起 動している「DRILL STUDY」が教師PC側と連動して動作します。

学習者PCの場合、「シンクロ」ボタンを押下する事で、その瞬間の教師PC側 の「DRILL STUDY」の状態と同期します。

④ 設定ボタン 設定ダイアログを表示します。

[一般]タブ



(ア) 録音時間上限

設定範囲は1~15分。初期設定は15分です。

(イ) 録音時間下限

録音されたとみなす最短の時間です。初期設定は1秒です。

(ウ) 無音認識音圧

自動インデックス作成で使用するパラメーター。この音圧以下は

無音とみなします。

(エ) 無音による録音停止時間

指定秒数無音が続くと録音が停止する際の時間指定。

(オ) 無音による録音停止有り

無音が続いた際、録音を停止します。

(エ) の指定時間無音だった場合録音を停止します。

(カ) 同時録音時の延長時間

同時録音を行った際、学習語(手本)の再生が終了した後、指定 時間自分の声の録音を継続する。

(キ) サンプリングレート

録音時の音声ファイルのサンプリングレートを指定します。

8 KHz

16KHZ

 $22.05~\mathrm{KHz}$

44.10 KHz

の4種類から選択できます。

(ク) ステレオ録音

音声ファイル形式をステレオ形式で録音します。

入力デバイスがステレオに対応していない場合は、ステレオの左右チャンネルは同じ音声が録音されます。

(ケ) 再生開始時に等速に戻す

スピードコントロールについて再生ボタンを押すごとに等速に 戻します。

(コ) 教材ルートフォルダ

ソフトレコーダの教材ルートフォルダを指定します。

教材ルートフォルダはスピーキング用、ドリルスタディ用、スクリーンレッスン用、アカデミックライティング用の 4 カ所を登録します。

(サ) ファイルサーバ名

サーバー名の置き換えを使用する(シ)を行う場合に、

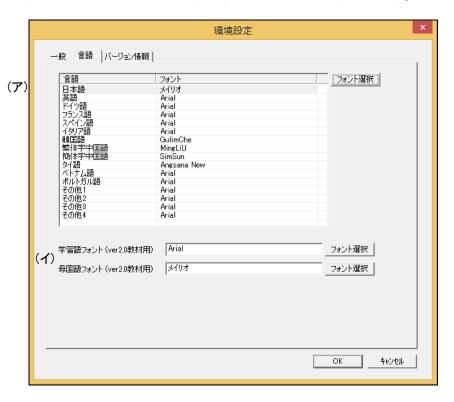
サーバー名を指定します。

(シ) サーバー名によるパス文字列の置換を有効にする。

教材パス指定時にサーバー名の置き換えを使用する場合に チェックを入れます。

[言語]タブ

PC@LLソフトレコーダで使用する言語用フォントを設定します。



(ア) フォント設定

ソフトレコーダでは使用する言語を16種類設定することができます。 日本語

プリセット 12種類

英語

ドイツ語

フランス語

スペイン語

イタリア語

韓国語

繁体字中国語

簡体字中国語

タイ語

ベトナム語

ポルトガル語

自由設定 4種

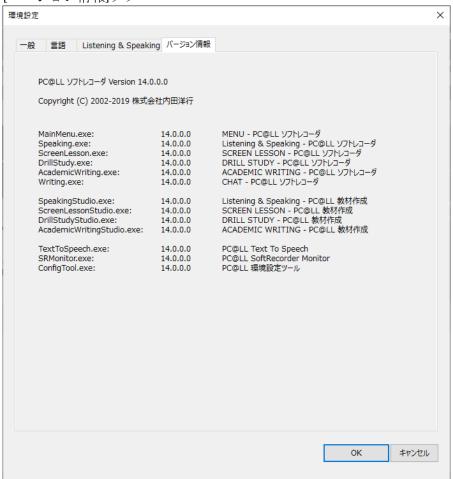
自由設定は言語の名称、フォントの種類の両方を変更することができます。 上記固定の言語以外を使用する場合はこちらに設定してください。

設定されているフォントはあらかじめインストールされているフォントを選択し てあります。専用のフォントを導入されている場合はそのフォントを選択してくだ さい。

ver 2.0用教材データ読み込み時フォント設定

ver 2.0用教材データを読み込む際に使用するデータを設定します。Ver 2.0用デー タはデータ内に使用している言語のデータが無いためソフトで指定する必要があ ります。

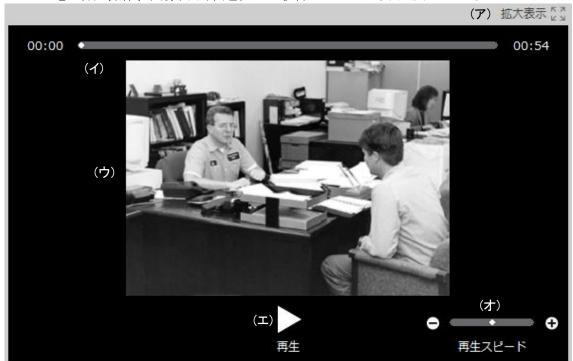
[バージョン情報]タブ



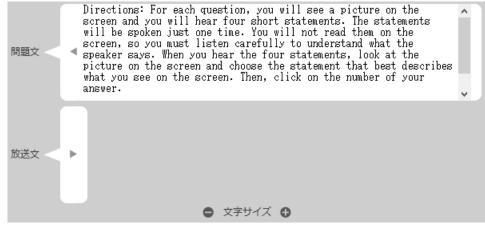
ソフトレコーダの各実行ファイルの詳細なバージョン情報を確認出来ます。

- ⑤ 最小化ボタン ソフトを最小化します。
- ⑥ 終了ボタン 「DRILL STUDY」を終了し、「メニュー」に戻ります。

⑦ 音声操作、画像表示部(選択した教材によっては表示されません)



- (ア) 拡大表示ボタン画像を拡大表示します。
- (イ) 再生位置、時間表示 音声の再生位置と時間を表示します。 左端の時間は現在の再生時間を表示します。 右端の時間は音声の残り時間を表示します。
- (ウ) 静止画表示 問題の静止画を表示します。
- (エ) 再生 停止ボタン 問題音声の再生、停止を行います。
- (オ) 再生スピードコントロール 問題音声の再生スピードを調整出来ます。
- ⑧ 問題文、放送文表示部(問題によっては大きく広がって表示されます)

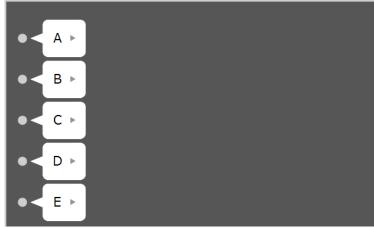


問題文、放送分を表示します。

吹き出し左の■ボタンで文章を隠すことが出来ます。
■ボタンで文章を表示します。

文章の文字サイズは、 **○ 文字サイズ ①**により調整が可能です。

⑨ 選択肢文章表示部



問題の選択文章を表示します。

吹き出し左の \square ボタンで文章を隠すことが出来ます。 \square ボタンで文章を表示します。

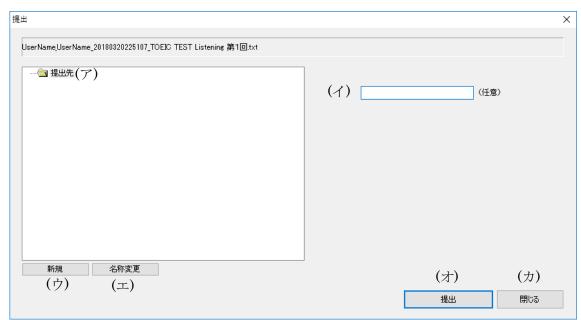
左脇のしをクリックし、正解を選択します。

⑩ 解答表示部



問題の解答が表示されます。

- 戻るボタン 前の問題に戻ります。
- ② 進むボタン 次の問題に進みます。
- ③ 提出ボタン



- (ア) 提出先のサブフォルダ選択 提出先のサブフォルダーを選択します。
- (イ) 提出名 提出時に任意の名前を追加出来ます。 提出ファイル名は以下の通りです。 ログイン ID_名前_日付時間_教材名_提出名.拡張子
- (ウ) サブフォルダー新規作成ボタン 提出先のサブフォルダーを作成します。 このボタンは教師 PC で動作した場合のみ表示されます。
- (エ) サブフォルダー名前変更ボタン 選択したサブフォルダーの名前を変更します。 このボタンは教師 PC で動作した場合のみ表示されます。
- (オ) 提出ボタン 選択した提出先、サブフォルダーに提出を行います。

提出後、確認ダイアログが表示されます。

(カ) 閉じるボタン提出を行わず、ダイアログを閉じます。

4.3. DRILL STUDY 基本操作編

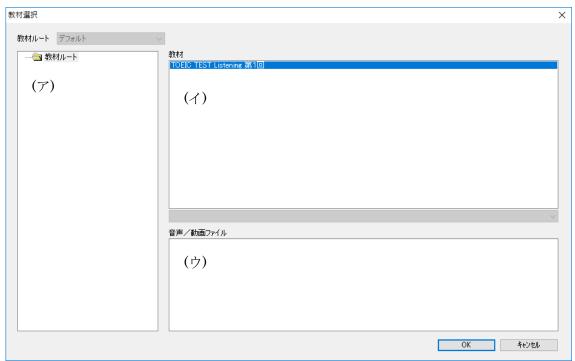
教材の読み出し

① 教材選択

教材選択 & 教材名表示の<教材を選択してください...>を押下し、教材選択ダイアログを表示します。



② 教材選択ダイアログ



教材選択ダイアログが表示されます。

(ア) サブフォルダー表示

選択した教材ルートのサブフォルダーが表示されます。

(イ) 教材表示

選択したサブフォルダー内の教材が表示されます。 ここではソフトレコーダ用に作成された教材が表示されます。

(ウ) 音声/動画ファイル

選択したサブフォルダー内の音声/動画ファイルが表示されます。

- ③ 教材ないしは音声/動画ファイルを選択します。
- ④ 選択した教材が読み込まれます。

基本練習

再生ボタン

テキスト音声が存在する時、有効になるボタンです。 このボタンをクリックすると、テキスト音声の再生を開始します。 再生が進むにつれて再生位置表示バーや時間表示の表示内容も更新されます。 音声ファイルの終端に達すると、再生を終了します。



再生位置表示バー

テキスト音声が存在する時だけ有効になります。

スライドバー全体にテキスト音声の総長を割り当てて、つまみの位置により再生開始 位置を相対的に表示します。

つまみをドラッグすると再生開始位置が移動します。

テキスト音声の再生中は、現在再生している位置を表示します。

時間表示も連動します。

00:00 • 00:54

再生位置表示バー

スピードコントロール

テキスト音声の再生速度をリアルタイムに変化させます。



選択肢ボタンと正解番号表示

問題文に対応する解答を選択するためのボタンです。選択肢 $1\sim5$ に対応します。いずれかのボタンをクリックすると、解説が表示されます。

4.4. DRILL STUDY 一斉理解度チェックについて

一斉理解度チェックでは、ドリルスタディ教材を利用して参加者全員に問題の提示を行います。

問題は、10 問まで選択する事ができます。

学習者は提示された問題を実施しますが、その間、教師側では各学習者の進捗や問題毎の正解率等を把握することが出来ます。

通常のドリルスタディの解答と異なり、学習者側では解答後に正解や解説は表示されません。

問題実施後、各回答等の情報は CSV ファイルで保存されます。

4.5. DRILL STUDY 一斉理解度チェックの問題作成と実施

1. 教師側では、ドリルスタディ起動時のモード選択で、「DRILL STUDY 一斉理解度 チェック」をクリックしてください。

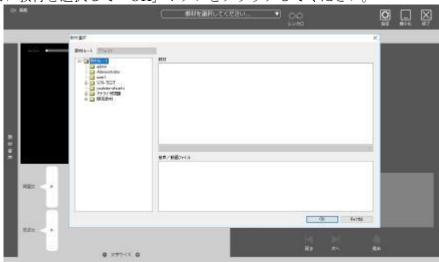
学習者側では、ソフトレコーダメニューを起動して待機してください。



2. 「新規で問題を作成する」をクリックしてください。



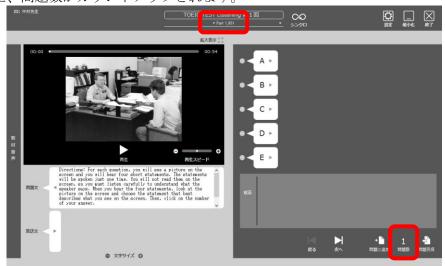
3. 教材選択画面が表示されますので、既存の教材から「一斉理解度チェック」で利用したい教材を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。



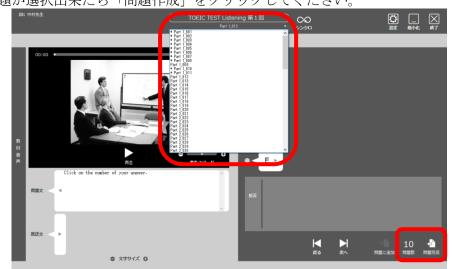
4. 教材が読み込まれます。 この問題を利用したい場合は、「問題に追加」をクリックしてください。



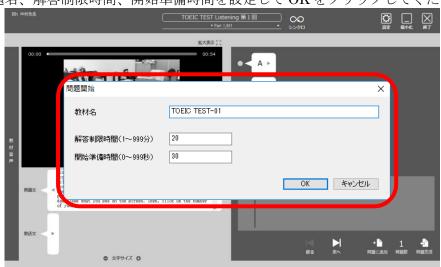
5. 登録された問題は、テキスト名の先頭に「*」印がつきます。 また、問題数がカウントアップされます。



6. 以降、テキストを切り替えて、登録する問題を選択して下さい。 問題は、最大で10問まで選択する事が出来ます。 問題が選択出来たら「問題作成」をクリックしてください。



7. 問題開始画面が表示されます。 問題名、解答制限時間、開始準備時間を設定して OK をクリックしてください。



8. 学習者の参加①

下記は、教師と学習者の画面です。

教師は参加人数、名前が表示される画面になります。

学習者側では、参加画面になります。



教師画面



学習者画面

UCHID/

9. 学習者の参加②

学習者側で「参加」ボタンをクリックすることで、教師側の参加人数がカウントアップされます。教師側では参加人数を確認し、全員の参加が確認出来たら、「開始」ボタンを押してください。

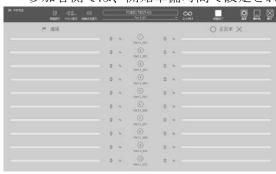




教師画面

参加者画面

- 10. 一斉理解度チェックの開始確認画面
 - 一斉理解度チェックの確認画面に切り替わります。
 - 教師側では解答状況確認画面(グラフ)に切り替わります。
 - 参加者側では、開始準備時間で設定された時間のカウントダウンが行われます。

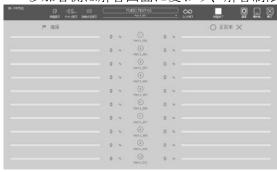


DrillStudy 一斉理解度チェック
吉田 さん
うから一斉理解度チェックを実施します。
ヘッドセットを収済して必要率してください。
音声付5段問題が10時出題されます。
初路時間は 20 分です。

教師画面

参加者画面

- 11. 一斉理解度チェックの開始
 - 一斉理解度チェックが開始します。
 - 参加者側は解答画面に変わり、解答制限時間が表示されます。





教師画面

参加者画面

12. 問題実施中の教師画面

問題実施中、教師側は問題の進捗状況等を確認する事が出来ます。

グラフ表示画面



- ① 問題表示画面への切り替えボタン 問題表示画面に切替ます。 他の画面でも同様に表示されます。
- ② グラフ表示画面への切り替えボタン グラフ表示画面に切り替えます。 他の画面でも同様に表示されます。
- ③ 詳細状況表示画面への切り替えボタン 詳細状況表示画面に切り替えます。 他の画面でも同様に表示されます。
- ④ 問題終了ボタン 一斉理解度チェックを制限時間前に停止します。 他の画面でも同様に表示されます。
- ⑤ 問題のテキスト名表示 登録された問題のテキスト名を表示します。 問題番号をクリックする事で、選択した問題の問題表示画面に切り替わります。
- ⑥ 進度確認グラフ 問題毎に解答した割合を示します。100%となっていれば、その問題は参会者全員が解答したことを示します。
- ⑦ 正答率確認グラフ 正答率を示します。

問題表示画面



- ① 回答状况表示
 - 各選択肢の下に参加者の解答割合が表示されます。
- ② 問題番号表示 現在表示している問題の番号を表示します。

詳細状況表示画面



- ① 問題番号、テキスト名表示 問題の番号とテキスト名が表示されます。
- ② 詳細状況表示

問題毎に進捗、正答率、参加者の解答状況が表示されます。 また、参加者毎に各問題の回答と正否、正解数が表示されます。

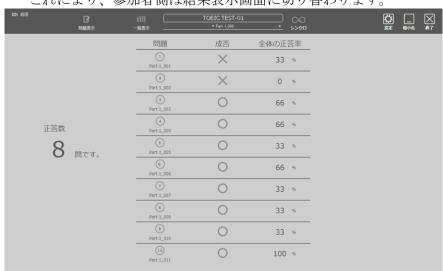
13. 参加者の解答画面



- ① 問題テキスト名表示 テキスト名が表示されます。 回答済みの問題には「*」が表示されます。
- ② 問題選択肢 選択肢が表示されます。
- ③ 制限時間表示 解答制限時間が表示されます。
- ④ 問題番号表示 問題数と現在の問題番号が表示されます。
- ⑤ 解答終了ボタン 制限時間前に解答を終了する場合、このボタンをクリックします。 これにより、結果確認画面が表示されます。
- 14. 一斉理解度チェックの解答終了

制限時間が経過するか、教師側で「問題終了ボタン」をクリックすることで、一斉理解度チェックの解答が終了します。

これにより、参加者側は結果表示画面に切り替わります。



4.6. DRILL STUDY一斉理解度チェック実施後操作

RILL STUDY 一斉理解度チェック」実施後は、問題の振り返りが出来ます。

教師側のグラフ表示画面や詳細状況表示画面では、問題番号をクリックする事で、問題表示 画面に切り替わります。

このとき、同時に参加者側の画面も教師側で選択した問題に切り替わります。

例: 教師側では、特に正答率の悪い問題の解説をしたい場合、問題番号をクリックすると 参加者の画面も合わせて該当の問題に切り替わります。

教師側の画面では、正解と共に、解答割合が表示されるため参加者の解答傾向を見ながら解説を行う事が出来ます。



UCHIDA

- 4.7. DRILL STUDY一斉理解度チェックの既存問題による実施
- 一斉理解度チェックでは、一度実施した問題は保存されます。

このため、過去に実施した問題を再度実行したい場合は、作成済みの問題を選択して開始することが出来ます。

1. 教師側では、ドリルスタディ起動時のモード選択で、「DRILL STUDY 一斉理解度 チェック」をクリックしてください。

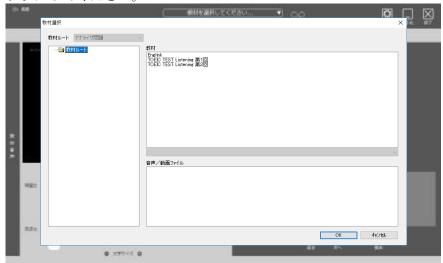
学習者側では、ソフトレコーダメニューを起動して待機してください。



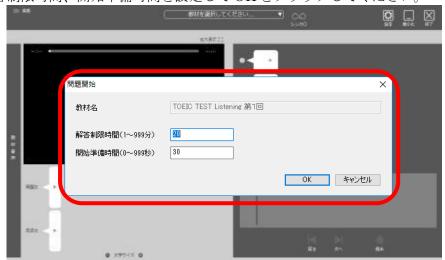
2. 「過去に実施した問題を開く」をクリックしてください。



3. 過去に実施した問題選択画面が表示されますので、問題を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。



4. 問題開始画面が表示されます。 解答制限時間、開始準備時間を設定して OK をクリックしてください。



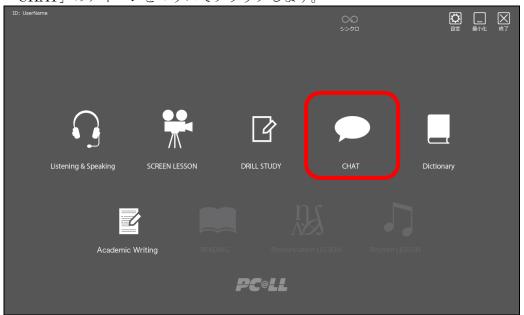
以降は、「新規で問題を作成する」と同じ操作になります。

第5章. **CHAT** (チャット)

5.1. CHAT の起動と終了

起動方法

1. 「CHAT」のアイコンをマウスでクリックします。



2. 「CHAT」が起動します。

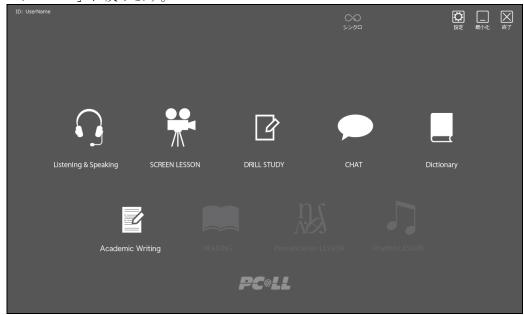


終了方法

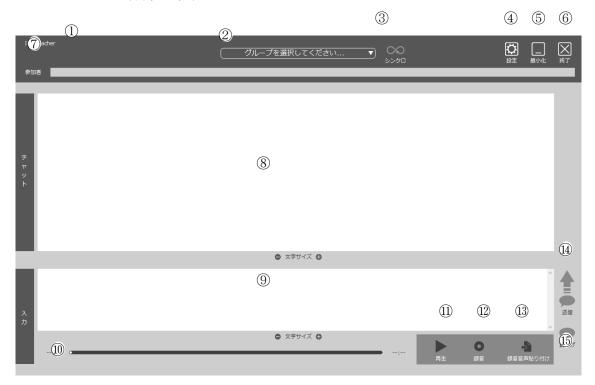
1. 「終了」ボタンをマウスでクリックします。



2. 「メニュー」に戻ります。



5.2. CHAT 各部の名称



- ①ID
- ②グループ選択 & グループ名表示
- ③シンクロボタン
- ④設定ボタン
- ⑤最小化ボタン
- ⑥終了ボタン
- ⑦グループ参加者表示
- ⑧チャット表示部
- ⑨チャット文章入力部
- ⑩音声スライダー
- ①再生ボタン
- ⑩録音ボタン
- ③録音音声貼り付けボタン
- ⑭送信ボタン
- (5)読上げボタン

(l) ID

PC@LLの表示名が表示されます。

一般的に、出席前は座席名(学習者1等)、出席操作後は出席名(名前)が表示されます。

② グループ選択 & グループ名表示 教材を選択します。 教材選択後は、教材名を表示します。



③ シンクロボタン

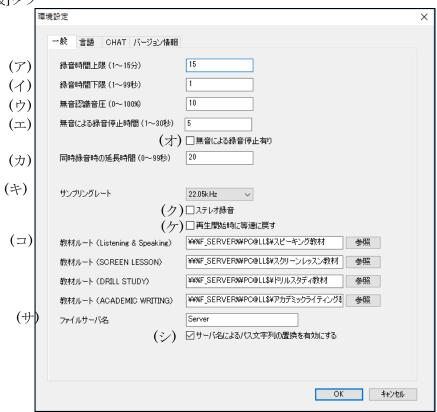
教師PC、学習者PCで動作が異なります。

教師PCの場合、「シンクロ」ボタンを押下後に操作を行うと、学習者PCで起動している「CHAT」が教師PC側と連動して動作します。

学習者PCの場合、「シンクロ」ボタンを押下する事で、その瞬間の教師PC側の「CHAT」の状態と同期します。

④ 設定ボタン 設定ダイアログを表示します。

[一般]タブ



(ア) 録音時間上限

設定範囲は1~15分。初期設定は15分です。

(イ) 録音時間下限

録音されたとみなす最短の時間です。初期設定は1秒です。

(ウ) 無音認識音圧

自動インデックス作成で使用するパラメーター。この音圧以下は

無音とみなします。

(エ) 無音による録音停止時間

指定秒数無音が続くと録音が停止する際の時間指定。

(オ) 無音による録音停止有り

無音が続いた際、録音を停止します。

(エ) の指定時間無音だった場合録音を停止します。

(カ) 同時録音時の延長時間

同時録音を行った際、学習語(手本)の再生が終了した後、指定 時間自分の声の録音を継続する。

(キ) サンプリングレート

録音時の音声ファイルのサンプリングレートを指定します。

8 KHz

16KHZ

 $22.05~\mathrm{KHz}$

 $44.10~\mathrm{KHz}$

の4種類から選択できます。

(ク) ステレオ録音

音声ファイル形式をステレオ形式で録音します。

入力デバイスがステレオに対応していない場合は、ステレオの左右チャンネルは同じ音声が録音されます。

(ケ) 再生開始時に等速に戻す

スピードコントロールについて再生ボタンを押すごとに等速に 戻します。

(コ) 教材ルートフォルダ

ソフトレコーダの教材ルートフォルダを指定します。

教材ルートフォルダはスピーキング用、ドリルスタディ用、スクリーンレッスン用、アカデミックライティング用の 4 カ所を登録します。

(サ) ファイルサーバ名

サーバー名の置き換えを使用する(シ)を行う場合に、

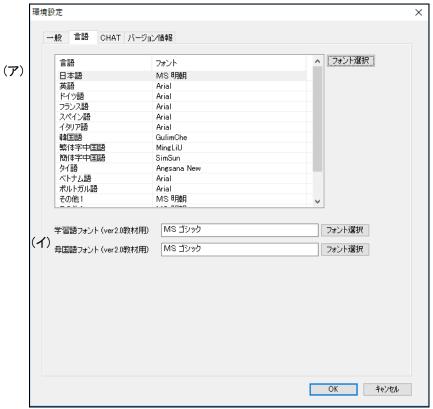
サーバー名を指定します。

(シ) サーバー名によるパス文字列の置換を有効にする。

教材パス指定時にサーバー名の置き換えを使用する場合に チェックを入れます。

[言語]タブ

PC@LLソフトレコーダで使用する言語用フォントを設定します。



(ア) フォント設定

ソフトレコーダでは使用する言語を16種類設定することができます。

プリセット **12**種類 日本語

英語

ドイツ語

フランス語

スペイン語

イタリア語

韓国語

繁体字中国語

簡体字中国語

タイ語

ベトナム語

ポルトガル語

自由設定 4種

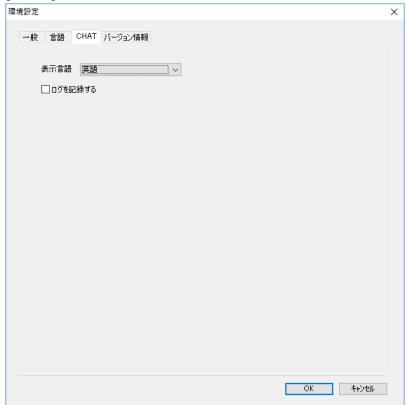
自由設定は言語の名称、フォントの種類の両方を変更することができます。上記固定の言語以外を使用する場合はこちらに設定してください。

設定されているフォントはあらかじめインストールされているフォントを選択してあります。専用のフォントを導入されている場合はそのフォントを選択してください。

(イ) ver 2.0用教材データ読み込み時フォント設定

ver 2.0用教材データを読み込む際に使用するデータを設定します。Ver 2.0用データはデータ内に使用している言語のデータが無いためソフトで指定する必要があります。

[CHAT]タブ



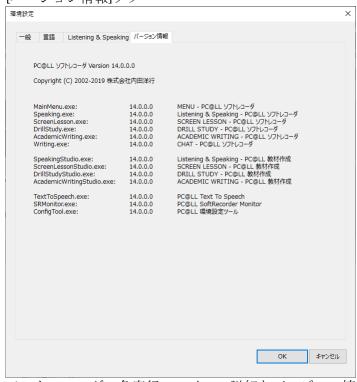
「CHAT」の設定を行います。

表示言語:表示言語を選択します。

ログを記録する:チャットの内容を記録するか選択します。

記録はテキストファイル形式とDB形式の両方で行われます。

[バージョン情報]タブ



ソフトレコーダの各実行ファイルの詳細なバージョン情報を確認出来ます。

- ⑤ 最小化ソフトを最小化します。
- ⑥ 終了 「CHAT」を終了し、「メニュー」に戻ります。
- ⑦ グループ参加者表示部 グループ参加者名を表示します。
- ⑧ チャット表示部 チャットの内容を表示します。文章の文字サイズは、文字サイズ (こより調整が可能です。
- ⑨ チャット文章入力部 チャットの内容を表示します。文章の文字サイズは、● 文字サイズ ● により調整が可能です。
- ⑩ 音声スライダー 音声の再生位置と時間を表示します。 左端の時間は現在の再生時間を表示します。 右端の時間は音声の残り時間を表示します。
- ① 再生ボタン 録音した音声やチャット本文で貼り付けられた音声を再生するボタンです。
- ② 録音ボタン 音声貼り付けを行う為の音声を録音するボタンです。
- ③ 録音音声貼り付けボタン 「チャット文章入力部」で入力された文章と共に録音した音声を貼り付けて送 信する為のボタンです。
- ④ 送信ボタン「チャット文章入力部」で入力された文章を送信する為のボタンです。
- ⑤ 読上げボタン 「チャット文章入力部」で入力された文章をText To Speech機能により読み上 げる為のボタンです。

Text To Speechで音声を読み上げるためには「PC@LL Text To Speechオプション」が必要です。

「PC@LL Text To Speechオプション」が導入されていない場合、読上げボタンは動作しません。

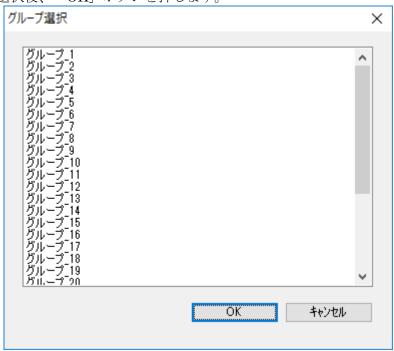
5.3. グループ選択

ライティングをメニューから起動した場合は、起動直後グループが選択されていません。

1.「グループ選択」ボタンを押します。

グループを選択してください... ▼

2.「グループ選択」ダイアログが表示されるので、参加するグループを選択します。 選択後、「OK」ボタンを押します。



3.グループが選択されると、グループ名表示欄に選択したグループ名が表示されます。 また、同時に「参加者」欄にも学習者の名称が表示されます。



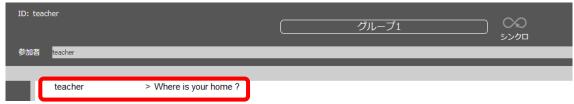
4.以上でグループへの参加は終了です。

グループを変更する場合は、グループ名をクリックしてください。 グループ選択ダイアログにて、参加したいグループを選択する事で、現在のグループを抜け、 新たに選択したグループに参加します。

5.4. 発言

1. チャット文章入力部に発言したい内容をキーボードから入力します。

3. 発言した内容がチャット表示部に表示されます。



5.5. 音声ファイル添付

「CHAT」はテキスト文章と同じように、発言内容に音声ファイルを添付することができます。

1. 貼り付ける音声の録音

「発言」に貼り付ける音声を録音します。録音ボタンを押して録音を開始してください。



2. 録音が終了すると「録音音声貼り付け」ボタンが押せる状態になります。 「録音音声貼り付け」ボタンを押すと、音声ファイルが添付されます。



3. そのとき「入力域」に入力されている文章とともに「チャット」欄に表示されます。音 声ファイルが添付されている場合はプマークが発言に添付されます。



4. 添付された音声を聞くためには、その発言の♪マークをクリックすると当該の音声ファイルが読み込まれます。



5. 読み込まれた音声は「再生」ボタンを押すと聞くことができます。

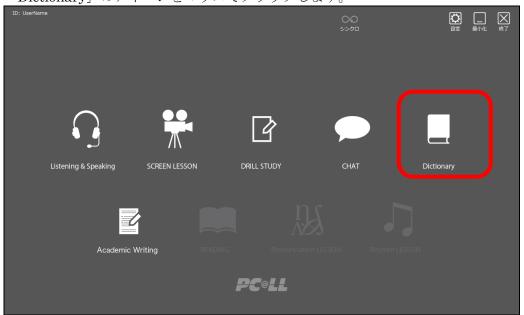


第6章. Dictionary (ディクショナリー)

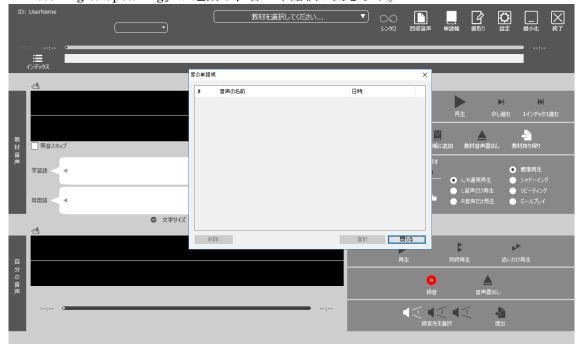
6.1. Dictionary の起動と終了

起動方法

1. 「Dictionary」のアイコンをマウスでクリックします。



2. 「Listening & Speaking」が起動し、音の単語帳が開きます。



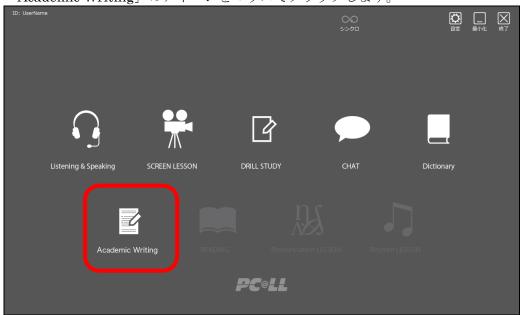
以降、操作は「Listening & Speaking」と同じです。

第7章. Academic Writing (アカデミックライティング)

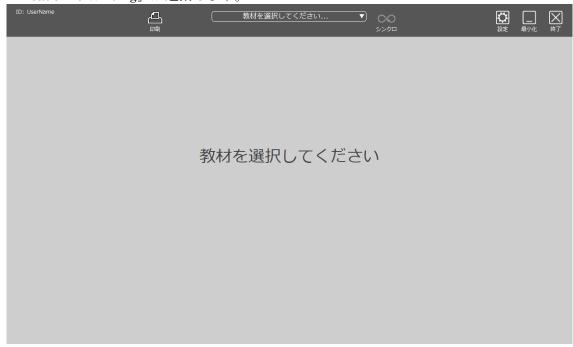
7.1. Academic Writing の起動と終了

起動方法

1. 「Academic Writing」のアイコンをマウスでクリックします。



2. 「Academic Writing」が起動します。

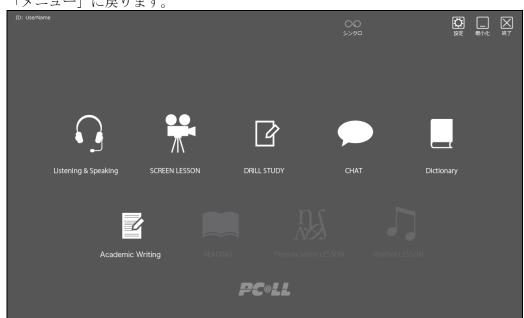


終了方法

3. 「終了」ボタンをマウスでクリックします。

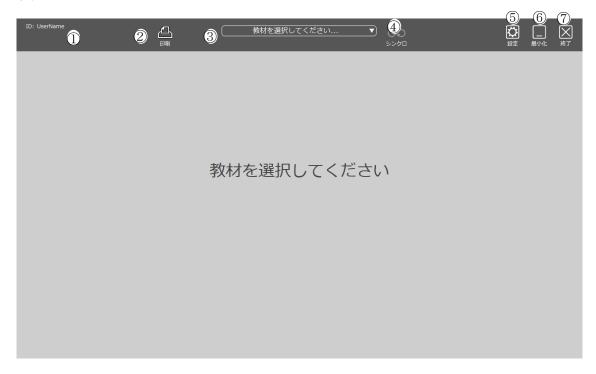


4. 「メニュー」に戻ります。

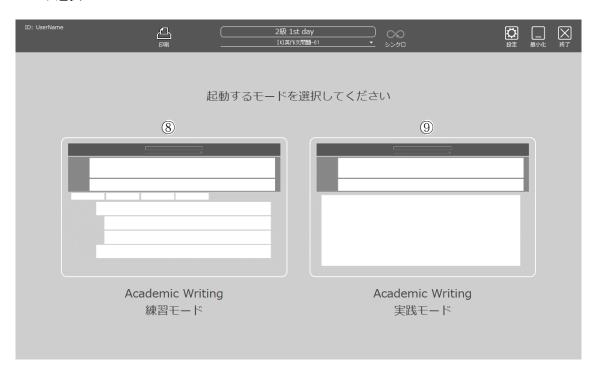


7.2. Academic Writing 各部の名称

教材選択前



モード選択



- ①ID
- ②印刷
- ③教材選択 & 教材名表示
- ④シンクロボタン

- ⑤設定ボタン
- ⑥最小化ボタン
- ⑦終了ボタン
- ⑧練習モード開始ボタン
- ⑨実践モード開始ボタン
- ① ID

PC@LLの表示名が表示されます。

一般的に、出席前は座席名(学習者1等)、出席操作後は出席名(名前)が表示されます。

② 印刷ボタン

回答内容を印刷するためのボタンです。 教師PCのみ表示され、学習者PCでは表示されません。

③ 教材選択 & 教材名表示

教材を選択します。

教材は、教材作成アプリで作成した専用教材以外に、音声ファイル(WAV、WMA、MP3形式)に対応しています。

教材選択後は、教材名を表示します。



教材選択前

教材選択後

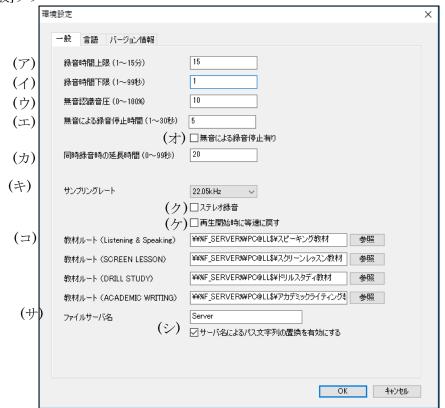
④ シンクロボタン

教師PC、学習者PCで動作が異なります。

教師PCの場合、「シンクロ」ボタンを押下後に操作を行うと、学習者PCで起動している「Academic Writing」が教師PC側と連動して動作します。 学習者PCの場合、「シンクロ」ボタンを押下する事で、その瞬間の教師PC側の「Academic Writing」の状態と同期します。

⑤ 設定ボタン 設定ダイアログを表示します。

[一般]タブ



(ア) 録音時間上限

設定範囲は1~15分。初期設定は15分です。

(イ) 録音時間下限

録音されたとみなす最短の時間です。初期設定は1秒です。

(ウ) 無音認識音圧

自動インデックス作成で使用するパラメーター。この音圧以下は 無音とみなします。

(エ) 無音による録音停止時間

指定秒数無音が続くと録音が停止する際の時間指定。

(オ) 無音による録音停止有り

無音が続いた際、録音を停止します。

(エ) の指定時間無音だった場合録音を停止します。

(カ) 同時録音時の延長時間

同時録音を行った際、学習語(手本)の再生が終了した後、指定 時間自分の声の録音を継続する。

(キ) サンプリングレート

録音時の音声ファイルのサンプリングレートを指定します。

8 KHz

16KHZ

 $22.05~\mathrm{KHz}$

 $44.10~\mathrm{KHz}$

の4種類から選択できます。

(ク) ステレオ録音

音声ファイル形式をステレオ形式で録音します。 入力デバイスがステレオに対応していない場合は、ステレオの左

右チャンネルは同じ音声が録音されます。

(ケ) 再生開始時に等速に戻す

スピードコントロールについて再生ボタンを押すごとに等速に 戻します。

(コ) 教材ルートフォルダ

ソフトレコーダの教材ルートフォルダを指定します。 教材ルートフォルダはスピーキング用、ドリルスタディ用、スク リーンレッスン用、アカデミックライティング用の 4 カ所を登 録します。

(サ) ファイルサーバ名

サーバー名の置き換えを使用する(シ)を行う場合に、サーバー名を指定します。

(シ) サーバー名によるパス文字列の置換を有効にする。 教材パス指定時にサーバー名の置き換えを使用する場合に チェックを入れます。

[言語]タブ

PC@LL ソフトレコーダで使用する言語用フォントを設定します。



(ア) フォント設定

ソフトレコーダでは使用する言語を16種類設定することができます。

プリセット **12**種類 日本語

英語

ドイツ語

フランス語

スペイン語

イタリア語

韓国語

繁体字中国語

簡体字中国語 タイ語 ベトナム語 ポルトガル語

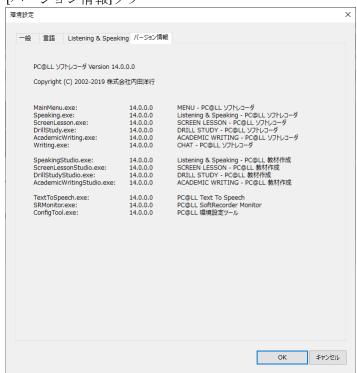
自由設定 4種

自由設定は言語の名称、フォントの種類の両方を変更することができます。上記固定の言語以外を使用する場合はこちらに設定してください。

設定されているフォントはあらかじめインストールされているフォントを選択してあります。専用のフォントを導入されている場合はそのフォントを選択してください。

(イ) ver 2.0用教材データ読み込み時フォント設定 ver 2.0用教材データを読み込む際に使用するデータを設定します。Ver 2.0用データはデータ内に使用している言語のデータが無いためソフトで指定する必要があります。

[バージョン情報]タブ



- ⑥ 最小化ボタン ソフトを最小化します。
- ⑦ 終了ボタン 「Academic Writing」を終了し、「メニュー」に戻ります。
- 8 Academic Writing 練習モード開始ボタン Academic Writingの練習モードを開始します。
- ⑨ Academic Writing 実践モード開始ボタン

Academic Writingの実践モードを開始します。

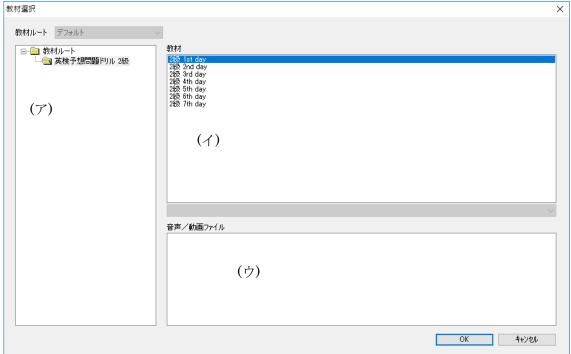
7.3. 教材選択

① 教材選択

教材選択 & 教材名表示の<教材を選択してください...>を押下し、教材選択ダイアログを表示します。



② 教材選択ダイアログ



教材選択ダイアログが表示されます。

(ア) サブフォルダー表示

選択した教材ルートのサブフォルダーが表示されます。

(イ) 教材表示

選択したサブフォルダー内の教材が表示されます。

ここでは Academic Writing 用に作成された教材が表示されます。

(ウ)音声/動画ファイル

選択したサブフォルダー内の音声/動画ファイルが表示されます。

- ③ 教材ないしは音声/動画ファイルを選択します。
- ④ 選択した教材が読み込まれます。

7.4. 練習モードの実施

① モード選択

モード選択画面で「Academic Writing 練習モード」を押して下さい。



② 問題の表示と意見の入力、観点の選択

問題が表示されます。

問題表示とともに、画面左下の経過時間が計測を開始します。

入力した文の文字数、単語数をカウントして画面右下に表示します。

画面に従って「意見」欄に問題に対する意見を入力して下さい。

観点が示されている場合、観点を選択することができます。

「意見」、「観点」は後の画面でも確認、編集が可能です。

入力が出来たら「次へ」を押して下さい。



UCHIDA

③ 理由の入力

問題に合わせて理由を「理由」欄に2点入力します。 このとき、前の画面で入力した「理由」と選択した「観点」も表示され、編集が可 能です。

入力が出来たら「次へ」を押して下さい。



④ 結論の入力

問題に合わせて結論を「結論」欄に入力します。 このとき、前の画面で選択した「観点」、も表示され、編集が可能です。 入力が出来たら「次へ」を押して下さい。



⑤ まとめ

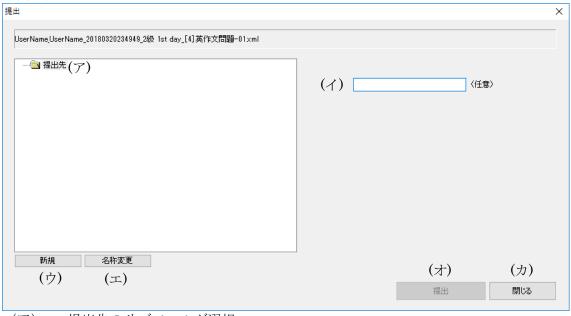
解答のまとめ画面が表示されます。

この画面では、問題選択後に入力した「理由」、「観点」、「理由」、「結論」が全て表示され、編集可能な状態です。

解答内容を確認し、単語数が問題の指示範囲に収まり、問題無ければ「提出」ボタンを押して解答を提出します。



提出画面



- (ア) 提出先のサブフォルダ選択提出先のサブフォルダーを選択します。
- (イ) 提出名 提出時に任意の名前を追加出来ます。 提出ファイル名は以下の通りです。

ログイン ID_名前_日付時間_教材フォルダー名_教材ファイル名_提出名.拡張

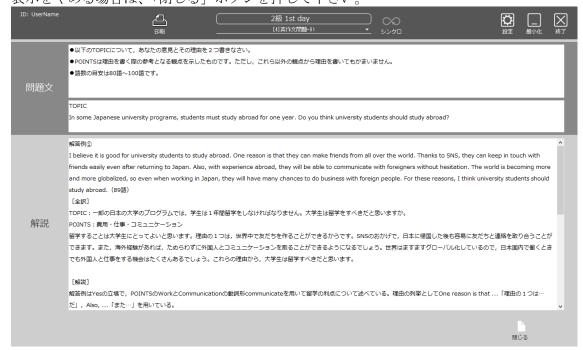
子

- (ウ) サブフォルダー新規作成ボタン 提出先のサブフォルダーを作成します。 このボタンは教師 PC で動作した場合のみ表示されます。
- (エ) サブフォルダー名前変更ボタン 選択したサブフォルダーの名前を変更します。 このボタンは教師 PC で動作した場合のみ表示されます。
- (オ) 提出ボタン 選択した提出先、サブフォルダーに提出を行います。 提出後、確認ダイアログが表示されます。
- (カ) 閉じるボタン提出を行わず、ダイアログを閉じます。

⑥ 解説の確認

解答後は解説を表示する事が出来ます。 ※教師 PC に限り、提出前でも解説を表示する事が出来ます。 解説ボタンを押すことで、以下の様に解説が表示されます。

表示をやめる場合は、「閉じる」ボタンを押して下さい。



7.5. 実践モードの実施

① モード選択

モード選択画面で「Academic Writing 練習モード」を押して下さい。



② 解答の入力

問題が表示されます。

問題表示とともに、画面左下の経過時間が計測を開始します。 入力した文の文字数、単語数をカウントして画面右下に表示します。 画面に従って「解答」欄に問題に対する解答を入力して下さい。

解答内容を確認し、単語数が問題の指示範囲に収まり、問題無ければ「提出」ボタンを押して解答を提出します。



7.6. 提出物の印刷

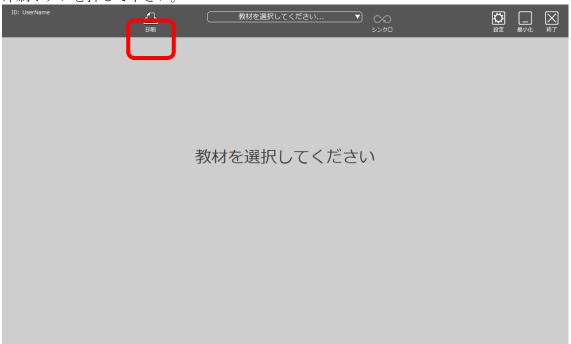
提出物の評価のため、教師 PC では提出物の印刷が出来ます。 以下は、印刷方法の説明です。

印刷は提出物毎に1ページにまとめた帳票として出力されます。

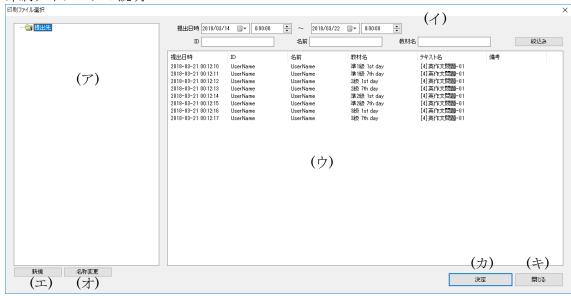
① 印刷ダイアログの表示

教師 PC に限り、印刷ボタンが表示されます。

印刷ボタンを押して下さい。



② 印刷ダイアログの説明



- (ア) 提出フォルダのサブフォルダ選択提出フォルダーのサブフォルダーを選択します。
- (イ) 絞り込み条件設定

提出ファイルの絞り込み条件の設定が出来ます。

絞り込み条件は、提出日時、ID、名前、教材名が設定出来ます。

提出日時の開始日は標準で7日前が設定されています。

UCHIDA

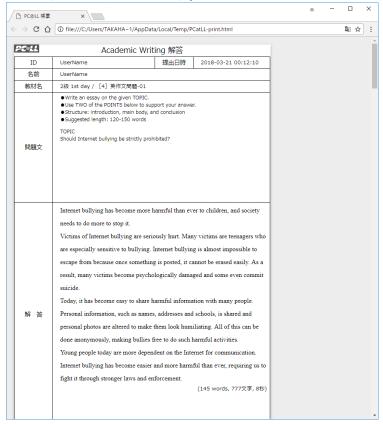
条件を設定し、「絞り込み」ボタンを押すことで、提出ファイル一覧は条件に該当するファイルが表示されます。

(ウ) 提出ファイル一覧 絞り込み条件に該当するファイルの一覧が表示されます。 表示されたファイルから印刷したいファイルを選択して下さい。 範囲指定する場合は、マウスで印刷する範囲をドラッグするか、キーボードの「Shift」キーを押しながら開始と終了をクリックして下さい。 個別に複数選択する場合は、キーボードの「Ctrl」キーを押しながらフ

- ァイルをクリックして下さい。 (エ) サブフォルダー新規作成ボタン 提出先のサブフォルダーを作成します。
- (オ) サブフォルダー名前変更ボタン 選択したサブフォルダーの名前を変更します。
- (カ) 決定ボタン 提出ファイル一覧で選択したファイルを印刷する為、帳票を作成しブラ ウザで表示します。
- (キ) 閉じるボタン 提出を行わず、ダイアログを閉じます。

③ ブラウザー表示

「決定」ボタンにより、提出ファイル一覧で選択されたファイルが帳票形式になってブラウザーで表示されます。



4) 印刷

ブラウザーの印刷機能を利用して、印刷を行って下さい。 印刷の方法については、ご利用のブラウザーのヘルプ等をご参照下さい。

第8章. SYNCHRO (シンクロ)

8.1. SYNCHRO について

シンクロとは、教師用パソコンで起動しているソフトレコーダの下記のアプリケーションに表示されている「シンクロ」ボタンを押すと、押した後の機能が学習者パソコンのソフトレコーダでリモートコントロール操作されて動作します。

学習者側が異なるアプリケーションを利用している場合、シンクロは動作しません。

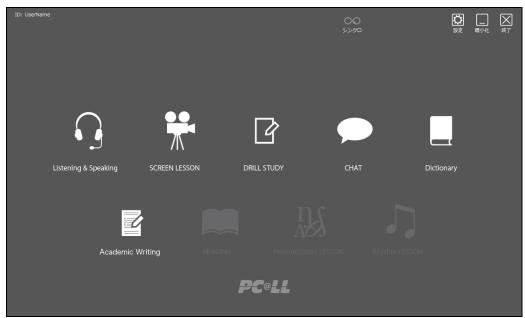
8.2. SYNCHRO の使用方法

シンクロ機能の基本

シンクロ機能があるアプリケーションは以下の5つです。

メニュー リスニング & スピーキング スクリーンレッスン ドリルスタディ チャット

※英文速読、発音レッスン、リズムレッスンにはシンクロ機能はありません。



「メニュー」にシンクロボタンが表示されるのは教師 PC のソフトレコーダのみです。 学習者 PC のソフトレコーダには表示されません。

シンクロ機能が使用可能なときはシンクロボタンが表示されます。

表示されない場合、シンクロの設定がなされていません。

教師側からメニューの操作例

- 1. 教師 PC でソフトレコーダ/メニューを起動します。
- 2. 学習者 PC のソフトレコーダ/メニューを学習者の操作で起動します。 (※ソフトレコーダのシンクロ機能にはアプリケーションの起動機能はありません。 PC@LL のコンソールから一斉起動するか、学習者の手動作業によってメニューを 起動してください)
- 3. 教師用 PC のソフトレコーダ/メニューのシンクロボタンを押します。
- 4. 教師用 PC のソフトレコーダ/メニューで起動したいアプリケーションのボタンを押します。
- 5. 指定したアプリケーションが学習者 PC で起動します。

注意点!シンクロ機能はシンクロボタンを押した後からの操作を学習者パソコンにリモートコントロールします。シンクロボタンを押す以前の操作は学習者 PC に伝わりません。シンクロボタンを押す以前の操作を教師 PC と学習者 PC のソフトレコーダで一致させたいときは学習者側のソフトレコーダにあるシンクロボタンを押してください(後述)。

学習者用ソフトレコーダのシンクロボタン

学習者用ソフトレコーダに表示されるシンクロボタンを押すと、その時点の教師 PC で起動しているソフトレコーダの状態と同じになります。

第9章. Text To Speech

9.1. PC@LL Text To Speech オプションのインストール

Text To Speechで音声を読み上げるためには「PC@LL Text To Speechオプション」が必要です。

Text To Speechオプションのインストール方法はText To Speechオプションのマニュアルをご参照ください。

9.2. Text To Speech の起動

Windows 7/10 の場合

「スタートメニュー」 — 「PC@LL ソフトレコーダ」 — 「Text To Speech」を実行してください。

Windows8/8.1 の場合

メニュー画面の「Text To Speech」を実行してください。

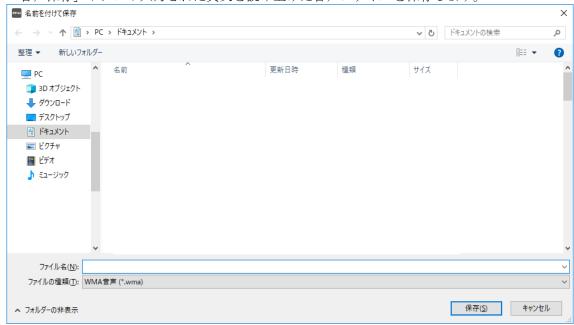
Windows 8.1 の画面例





9.3. Text To Speech の使用方法

- 1) テキスト入力エリアに直接キーボードから英文を入力、または「文章読み込み」ボタンを押してテキストファイルを指定し、テキスト入力エリアに文章を入力します。
- 2) 「読み上げ」ボタン:入力された文章を読み上げます。
- 3) 「音声保存」ボタン:入力された英文を読み上げた音声ファイルを保存します。



名前を付けて保存ダイアログが表示されますので、ファイルに名前をつけて指定した 場所に保存してください。

ファイルの保存形式は

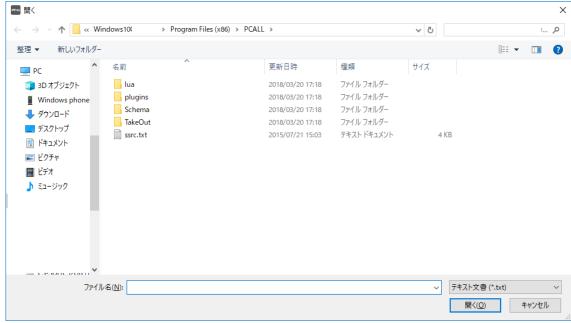
WAVE形式

UCHIDA

WMA形式

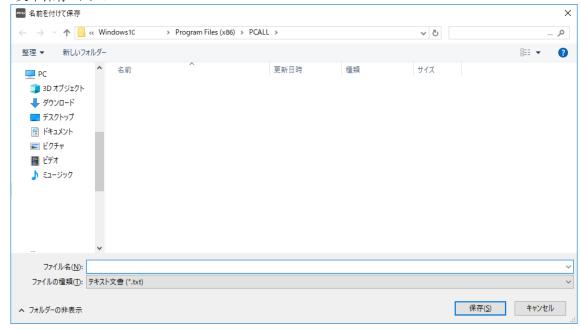
のいずれかが選択可能です。

4) "文章読み込み"ボタン



テキストファイルを指定して読み込みます。

5) "文章保存"ボタン



テキストエリアに入力した文章をファイルとして保存できます。

6) "閉じる"ボタン: Text To Speechを終了します。

9.4. Text To Speech 音声の切り替え方

PC@LL ソフトレコーダのメニューを起動する際の起動オプションを変更することによって

男性声(Tom) 女性声(Jill)

の切り替えを行うことができます。

注:以下の設定が行われていない場合は男性声(Tom)が再生されます。

メインメニューの実行ファイルに以下の起動オプションを設定します。

TextToSpeech.exe [-Auth] [-teacher] [-Pair] [-voice=Tom1 | Jull1] [-language=Japanese | English | SimplifiedChinese | TraditionalChinese]

-teacher Text to Speechを教師モードで起動する

-voice = 音声読上げ機能で使用する音声名を指定する

男性声 Tomにする場合(初期設定)

-voice = Tom1

女性声 Jillにする場合

-voice = Jill1

-language= キャプションの言語名

日本語にする場合(初期設定)

-language=Japanese

英語にする場合

-language=English 簡体字中国語にする場合

-language=SimplifiedChinese

繁体字中国語にする場合

-language=TraditionalChinese